

2. 学会等における研究発表テーマ調べ (病院)

病院長

- 001 加藤知行：肛門管の解剖・生理からみた肛門括約筋切除を伴う肛門温存術：特別発言。第59回日本大腸肛門病学会総会，2004。(久留米市) [特別発言]。
- 002 加藤知行：大腸癌肝転移の外科治療。大腸癌学術講演会，2004。(東京) [特別講演]。
- 003 加藤知行：大腸癌肝転移・肺転移の外科治療。第3回奈良県癌化学療法学術講演会，2004。(奈良) [特別講演]。

消化器内科

- 001 Yamao K: Endoscopic Diagnosis and Staging. 6th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary ASSOCIATION, 2004. Washington, DC, USA), [Sympo]
- 002 Doi T¹⁾, Nishida T²⁾, Hirota S²⁾, Sugiyama T³⁾, Yamao K, Koseki M⁴⁾, Kashiwa K⁵⁾, Sirao K⁶⁾, Ohtsu A¹⁾: Phase II clinical study of STI571 in Japanese (Jpn) patients (pts) with malignant gastrointestinal stromal tumors (GIST): Results of the B1201 study. ASCO, 2004, (New Orleans, LA), [示説]
- 003 Funakoshi A⁵⁾, Okusaka T⁶⁾, Ishii H¹⁾, Sawaki A, Ohkawa S⁷⁾, Ishikawa O⁸⁾, Saitoh S⁹⁾: Phase study of irinotecan (CPT-11) alone in patients (pts) with metastatic pancreatic cancer. 40th ASCO, 2004. (New Orleans, LA), [示説]
- 004 Sawaki A, Okubo K¹⁰⁾, Mizuno N, Ashida R, Nakamura T, Tajika M, Kawai H, Yamao K: Preoperative diagnosis of GISTs using endoscopic ultrasonography guided fine needle aspiration biopsy (EUS-FNAB). DDW2004, 2004, (New Orleans, LA), [示説]
- 005 Yamao K, Mizuno N, Sawaki A, Takahashi K: Clinicopathological Characteristics of Mucinous Cystic Neoplasm (MCN) and Intraductal Papillary Mucinous Tumor (IPMT) of the Pancreas. Joint Meeting of the 11th Meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) and the 35th Annual Meeting of the Japan Pancreas Society (JPS), 2004. (Sendai), [Sympo]
- 006 Sawaki A, Okubo K¹⁰⁾, Mizuno N, Shimizu Y¹¹⁾, Isaka T, Imaoka H, Okamoto Y, Sudo R, Yamao K: Efficacy of Computed tomography in the diagnosis of metastatic lesions from pancreatic cancer. Meeting of the 11th Meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) and the 35th Annual Meeting of the Japan Pancreas Society (JPS), 2004. (Sendai), [示説]
- 007 Mizuno N, Okubo K¹⁰⁾, Sawaki A, Nakamura T, Tajika M, Kawai H, Shimizu Y¹¹⁾, Yamao K: Clinicopathological study of 122 resected cases of intraductal papillary-mucinous tumor (IPMT) of the pancreas. Joint Meeting of the 11th Meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) and the 35th Annual Meeting of the Japan Pancreas Society (JPS), 2004.

(Sendai), [示説]

- 008 Takahashi K, Okubo K¹⁰⁾, Sawaki A, Mizuno N, Okamoto Y, Shimizu Y¹¹⁾, Yamao K: Differential Diagnosis of Pancreatic Cancer and Focal Pancreatitis Using Endoscopic Ultrasound Guided Fine Needle Aspiration Biopsy. IAP (International Association of Pancreatology), 2004. (Sendai), [示説]
- 009 Okamoto Y, Sawaki A, Okubo K¹⁰⁾, Mizuno N, Nakamura T, Ashida R, Katsurahara M¹²⁾, Isaka T, Imaoka H, Shimizu Y¹¹⁾, Yamao K: A case of invasive pancreatic adenocarcinoma derived from intraductal papillary mucinous tumor. Joint Meeting of the 11th Meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) and the 35th Annual Meeting of the Japan Pancreas Society (JPS), 2004. (Sendai), [示説]
- 010 Mizuno N, Okamoto Y, Sawaki A, Takahashi K, Salem A, Nakamura T, Tajika M, Kawai H, Yamao K: The role of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration biopsy (EUS-FNAB) in diagnosis of autoimmune pancreatitis. 14th International Symposium on Endoscopic Ultrasonography, 2004. (Tokyo), [示説]
- 011 Ashida R, Higuchi K¹³⁾, Arakawa T¹³⁾, Yamao K, Sawaki A, Mizuno N, Takahashi K, Shimizu Y¹¹⁾: EUS-Guided fine needle tattooing using indocyanine green for pancreatic tumor. 14th International Symposium on Endoscopic Ultrasonography, 2004. (Tokyo), [示説]
- 012 Yamao K: SMT's. 14th International Symposium on Endoscopic Ultrasonography, 2004. (Tokyo), [Lecture]
- 013 Yamao K: Recent Advances in Imaging for Pancreatic Tumor. 19th World Congress of International Society for Digestive Surgery Hepato-Pancreato-Biliary ASSOCIATION, 2004. 12. 11, (Yokohama), [Sympo]
- 014 Yamao K: International guideline for treatment of IPMNs/MCNs. The 4th Korea-Japan Joint Symposium on Gastrointestinal Endoscopy, 2005. (Seoul), [State of Art Lecture]
- 015 山雄健次：膵癌の診断と治療—Clinical Up-Date. 第20回消化器ラウンドテーブルディスカッション, 2004. (大阪), [特別講演]
- 016 山雄健次：胆道癌治療をめぐる諸問題。第90回日本消化器病学会。2004. (仙台), [ワークショップ (司会)]
- 017 中村常哉, 小椋美知則¹⁴⁾, 中村栄男¹⁵⁾：胃リンパ腫治療の最前線 Helicobacter pylori 除菌後の長期経過 H.pylori 除菌無効胃 MALT リンパ腫例に対する二次治療と予後。第90回日本消化器病学会総会，2004. (仙台), [ワークショップ]
- 018 田近正洋, 中村常哉, 山雄健次：H.pylori 除菌後の胃 MALT リンパ腫の長期経過。第90回日本消化器病学会，2004. (仙台), [シンポジウム]
- 019 田近正洋, 松浦 昭¹⁶⁾, 山雄健次：クローン病患者における骨合併症の検討。第90回日本消化器病学会, 2004. (仙台), [ワークショップ]
- 020 大久保賢治¹⁰⁾, 山雄健次, 水野伸匡：膵疾患診療における

- 超音波内視鏡下穿刺吸引生検および治療の有用性の検討. 第90回日本消化器病学会, 2004. (仙台), [パネルディスカッション]
- 021 澤木 明, 大久保賢治¹⁰⁾, 山雄健次: 悪性 Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST) に対するイマチニブ・メシレートの治療成績. 第90回日本消化器病学会, 2004. (仙台), [ワークショップ]
- 022 山雄健次: IPMN/MCN の国際ガイドライン作成に向けて 臨床病理学的見地から見た MCT と IPMT の異同. 第90回日本消化器病学会, 2004. (仙台), [Consensus Meeting]
- 023 井坂利史, 中村常哉, 田近正洋, 河合宏紀, 大久保賢治¹⁰⁾, 澤木 明, 水野伸匡, 葛原正樹¹²⁾, 岡本泰幸, 今岡 大, 蘆田玲子, 山雄健次: H.pylori 除菌療法が無効で経過観察中6年後に胃癌の発生をみた API 2-MALT 1 陽性胃 MALT リンパ腫の一例. 第90回日本消化器病学会総会, 2004. (仙台), [口演]
- 024 税所宏光¹⁷⁾, 山雄健次: 内視鏡を用いた管腔内からの胆膵疾患の診断と治療. 第67回日本消化器内視鏡学会総会, 2004. (京都), [ビデオワークショップ (司会)]
- 025 中村常哉: 胃悪性リンパ腫. 第67回日本消化器内視鏡学会総会, 2004. (京都), [一般演題 (座長)]
- 026 蘆田玲子, 山雄健次, 大久保賢治¹⁰⁾: 消化器腫瘍診断における EUS の新しい位置づけ 胆膵疾患に対する超音波内視鏡下治療 (Interventional EUS) の現状と将来. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [ワークショップ]
- 027 井坂利史, 大久保賢治¹⁰⁾, 澤木 明, 水野伸匡, 中村常哉, 田近正洋, 河合宏紀, 葛原正樹¹²⁾, 岡本泰幸, 今岡 大, 蘆田玲子, 山雄健次: 門脈・主膵管内に浸透した退形成性膵管癌 (破骨細胞型巨細胞癌) の一例. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [一般演題]
- 028 葛原正樹¹²⁾, 澤木 明, 大久保賢治¹⁰⁾, 水野伸匡, 中村常哉, 田近正洋, 河合宏紀, 井坂利史, 今岡 大, 岡本泰幸, 蘆田玲子, 山雄健次: 超音波内視鏡下穿刺吸引組織診 (EUS FNAB) が診断に有用であった4型食道癌の2例. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [一般演題]
- 029 岡本泰幸, 田近正洋, 中村常哉, 河合宏紀, 大久保賢治¹⁰⁾, 澤木 明, 水野伸匡, 葛原正樹¹²⁾, 井坂利史, 今岡 大, 蘆田玲子, 山雄健次: 同時性8多発胃癌の1例. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [一般演題]
- 030 河合宏紀, 中村常哉, 山雄健次: 食道表在癌に対する EMR 適応拡大の可能性 食道 m 3 sm1 癌に対する EMR 適応拡大の可能性. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [パネルディスカッション]
- 031 水野伸匡, 山雄健次, 大久保賢治¹⁰⁾: 癌性狭窄に対する内視鏡治療 ニードルナイフを用いた超音波内視鏡下穿刺による経十二指腸の胆管ドレナージ術. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [ビデオワークショップ]
- 032 山雄健次, 良沢昭銘¹⁸⁾: 第4回超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS FNA) の臨床応用に関する研究会 (第67回日本消化器内視鏡学会), 2004. (京都), [一般演題 (座長)]
- 033 今岡 大, 大久保賢治¹⁰⁾, 水野伸匡, 中村常哉, 澤木 明, 田近正洋, 河合宏紀, 葛原正樹¹²⁾, 井坂利史, 岡本泰幸, 蘆田玲子, 清水泰博¹¹⁾, 山雄健次: 超音波内視鏡下穿刺組織生検 (EUS FNAB) 後に手術を施行された胆膵疾患症例の検討. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [一般演題]
- 034 田近正洋, 中村常哉, 河合宏紀, 大久保賢治¹⁰⁾, 澤木 明, 水野伸匡, 葛原正樹¹²⁾, 井坂利史, 今岡 大, 岡本泰幸, 蘆田玲子, 山雄健次: 側方発育型大腸腫瘍における深達度診断の検討. 第67回日本消化器内視鏡学会, 2004. (京都), [一般演題]
- 035 井上宏之, 山雄健次, 水野伸匡, 大久保賢治¹⁰⁾, 澤木 明, 中村常哉, 田近正洋, 河合宏紀, 葛原正樹¹²⁾, 井坂利史, 今岡 大, 岡本泰幸, 蘆田玲子, 青木雅俊: 超音波内視鏡下胆管十二指腸吻合術が有用であった膵頭部癌の1例. 第4回超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS FNA) の臨床応用に関する研究会 (第67回日本消化器内視鏡学会附置研究会), 2004. (京都), [一般演題]
- 036 山雄健次: 「膵癌の臨床」一診断と治療のトピックス. 第34回九州膵研究会, 2004. (久留米), [特別講演]
- 037 高橋邦之, 山雄健次, 水野伸匡: 消化器疾患に対する超音波内視鏡下吸引生検 (EUS-FNAB), および, 超音波内視鏡下治療 (Interventional-EUS) の有用性の検討. 日本消化器病学会東海支部第100回例会, 2004. (静岡), [シンポジウム]
- 038 井坂利史, 澤木 明, 山雄健次: 悪性 Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST) に対するイマチニブ・メシレートの治療成績. 日本消化器病学会東海支部第100回例会, 2004. (静岡) [シンポジウム]
- 039 青木雅俊, 河合宏紀, 中村常哉, 田近正洋, 澤木 明, 水野伸匡, 高橋邦之, 岡本泰幸, 井坂利史, 今岡 大, 井上宏之, 山雄健次: 内視鏡的ポリペクトミーにて切除しえた食道血管腫の一例. 日本消化器病学会東海支部第100回例会, 2004. (静岡), [一般演題]
- 040 井上宏之, 水野伸匡, 高橋邦之, 澤木 明, 中村常哉, 田近正洋, 河合宏紀, 井坂利史, 今岡 大, 岡本泰幸, 青木雅俊, 山雄健次: コンパックス型超音波内視鏡が診断に有用であった非拡張型膵胆管合流異常に伴う胆嚢癌の一例. 日本消化器病学会東海支部第100回例会, 2004. (静岡), [一般演題]
- 041 今岡 大, 高橋邦之, 水野伸匡, 山雄健次: 「造影超音波検査が良悪性の鑑別に有用であった胆嚢癌の一症例」. 第5回東海腹部造影エコー研究会, 2004. (名古屋), [一般演題]
- 042 山雄健次: 膵癌化学療法の実状. 1st Medical Oncology Network in Pancreas, 2004. (東京), [一般演題]
- 043 中村常哉, 中村栄男¹⁹⁾: H.pylori は内視鏡診断学をかえたか. API 2-MALT 1 の有無と H.pylori 除菌療法に対する反応性からみた胃 MALT リンパ腫の病態. 第83回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2004. (福井), [シンポジウム]
- 044 山雄健次: 膵癌の診断と治療一最近の話題. 第18回東濃消化器病懇話, 2004. (中津川), [特別講演]
- 045 中村常哉: 除菌適応の反応性と染色体異常からみた胃 MALT リンパ腫の病態と治療. 第262回福島消化器病研究会, 2004. (福島), [特別講演]
- 046 中村常哉: 除菌適応の反応性と API 2-MALT 1 からみた胃

- MALT リンパ腫の病態と治療. 第1回東京上部消化管勉強会, 2004.07.21, (東京), [特別講演]
- 047 **田近正洋**: 「大腸がんの診断・治療と予防について」. 愛知県がんセンター平成16年度第1回公開講座, 2004. (名古屋), [講演]
- 048 **山雄健次**, **柳澤昭夫**¹⁹⁾: 卵巣様間質を有する粘液性嚢胞腺癌 (MCC) の組織像と臨床像. 第5回臨床消化器病研究会, 2004. (東京), [司会]
- 049 **高橋邦之**, **橋本貴至**²⁰⁾, **筒井 茂**²⁰⁾, **徳留健太郎**²⁰⁾, **長瀬文孝**²⁰⁾, **原 一夫**²¹⁾, **山雄健次**: 肝転移を来した MCT の一例. 第5回臨床消化器病研究会, 2004. (東京), [一般演題]
- 050 **山雄健次**: 超音波検査による膵胆管合流異常の診断方法—胆道癌になる前に発見するために—. 第6回神奈川腹部 US セミナー, 2004. (横浜), [ミニレクチャー]
- 051 **山雄健次**: 当施設における膵癌の診断と治療について. 第2回東海膵癌集学的治療講演会, 2004. (名古屋), [座長]
- 052 **中村常哉**: 食道・胃疾患の診断と治療. 川島セミナー, 2004. (名古屋), [講演]
- 053 **水野伸匡**, **高橋邦之**, **澤木 明**, **中村常哉**, **田近正洋**, **河合宏紀**, **井坂利史**, **今岡 大**, **岡本泰幸**, **井上宏之**, **青木雅俊**, **山雄健次**: 膵腫瘍診断に EUS-FNA は必要か? 膵腫瘍診断における EUS-FNAB の有用性. 第29回肝胆膵治療研究会, 2004. (名古屋), [パネルディスカッション]
- 054 **広松 孝**²²⁾, **秋田昌利**²²⁾, **長谷川洋**²²⁾, **坂本英至**²²⁾, **小松俊一郎**²²⁾, **板津慶太**²²⁾, **河合清貴**²²⁾, **田畑智文**²²⁾, **深見保之**²²⁾, **都築豊徳**²³⁾, **山雄健次**: 乳頭・FNA 限局性膵管狭窄をきたし, 浸潤性膵管癌との鑑別に苦慮した非機能性膵内分泌癌の1例. 第29回肝胆膵治療研究会, 2004. (名古屋), [一般演題]
- 055 **徳留健太郎**²⁰⁾, **橋本貴至**²⁰⁾, **筒井 茂**²⁰⁾, **河村直彦**²⁰⁾, **長瀬文孝**²⁰⁾, **金澤太茂**²⁰⁾, **十倉佳史**²⁰⁾, **佐藤真理**²⁰⁾, **和田裕晃**²⁰⁾, **等々力勇三**²⁰⁾, **宮田充樹**²⁰⁾, **長谷 智**²⁰⁾, **春日井邦夫**²⁰⁾, **各務伸一**²⁰⁾, **高橋邦之**, **山雄健次**: 乳頭・FNA EUS-FNAB が診断に有用であった膵 solid-pseudopapillary tumor の1例. 第29回肝胆膵治療研究会, 2004. (名古屋), [一般演題]
- 056 **山雄健次**: 消化器疾患に対する超音波内視鏡検査—Diagnostic EUS から Interventional EUS へ—. 第67回旭川血管造影研究会, 2004. (旭川), [特別講演]
- 057 **井上宏之**, **山雄健次**, **水野伸匡**, **高橋邦之**: 胆道病変の診断, 治療におけるコンベックス型超音波内視鏡の有用性の検討. 第40回日本胆道学会, 2004. (東京), [一般演題 (口演)]
- 058 **徳山泰治**¹¹⁾, **清水泰博**¹¹⁾, **安井健三**¹¹⁾, **高橋邦之**, **水野伸匡**, **澤木 明**, **山雄健次**: 膵 残膵摘出を施行した膵管内乳頭腫瘍の1例. 第55回東海胆道研究会, 2004. (名古屋), [一般演題]
- 059 **青木雅俊**, **田近正洋**, **中村常哉**, **河合宏紀**, **高橋邦之**, **井坂利史**, **今岡 大**, **岡本泰幸**, **井上宏之**, **山雄健次**: 診断が困難であった十二指腸潰瘍の一例. 第194回日本内科学会東海地方会, 2004. (愛知) [一般演題]
- 060 **佐藤慎哉**²⁴⁾, **塚本徹哉**²⁴⁾, **溝下 勤**²⁴⁾, **小笠原尚高**²⁴⁾, **松本学也**²⁵⁾, **清水泰博**¹¹⁾, **羽田勝計**²⁴⁾, **山雄健次**, **立松正衛**²⁴⁾: 膵腫瘍における腸型形質発現と Cdx 2 の発現について. 第63回日本癌学会学術総会, 2004. (福岡), [示説]
- 061 **山雄健次**: 「膵癌の臨床」—最新の診断と治療—. 第1回京都 GI フォーラム, 2004. (京都), [特別講演]
- 062 **山雄健次**: 膵癌の診断と治療—最近のトピックス—. 第3回三重消化器癌化学療法セミナー, 2004. (三重), [特別講演]
- 063 **山雄健次**: IPMT と MCN の臨床像. 平成16年度 山形県消化器病懇話会 村山・新庄・置賜・庄内ブロック症例検討会ならびに学術講演会, 2004. (山形), [特別講演]
- 064 **中村常哉**: 胃癌. 第68回日本消化器内視鏡学会総会, 2004. (福岡), [一般演題 (座長)]
- 065 **水野伸匡**, **山雄健次**, **澤木 明**: IPMT の治療法の選択—臨床因子から癌を推定する樹形モデルの開発を中心に. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [シンポジウム]
- 066 **岡本泰幸**, **水野伸匡**, **山雄健次**: 自己免疫性膵炎の診断における超音波内視鏡下穿刺吸引生検法 (EUS-FNAB) の有用性の検討. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [パネルディスカッション]
- 067 **井坂利史**, **山雄健次**, **清水泰博**¹¹⁾: Ts 1 膵がんの診断ストラテジ—スクリーニングから確定診断まで—当院での Ts 1 膵癌に対する検討. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [ワークショップ]
- 068 **田中幸子**³⁾, **山雄健次**: Ts 1 膵がんの診断ストラテジ—スクリーニングから確定診断まで—. 第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [ワークショップ (司会)]
- 069 **澤木 明**, **水野伸匡**, **山雄健次**: 胃 GIST をめぐって 胃 GIST の適切な経過観察時期を求めて. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [ワークショップ]
- 070 **田近正洋**, **中村常哉**, **山雄健次**: 大腸 sm 癌の内視鏡的切除術後の外科的追加切除の必要性の検討. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [パネルディスカッション]
- 071 **河合宏紀**, **中村常哉**, **山雄健次**, **田近正洋**, **澤木 明**, **水野伸匡**, **高橋邦之**, **今岡 大**, **井坂利史**, **岡本泰幸**, **青木雅俊**, **井上宏之**: 食道 m 3 sm 1 癌に対する EMR 適応拡大の検討. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [示説]
- 072 **高橋邦之**, **山雄健次**, **水野伸匡**: 消化器疾患に対する超音波内視鏡下吸引生検 (EUS-FNAB) 及び超音波内視鏡治療 (Interventional EUS) の現状と問題点. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会/第46回日本消化器病学会大会, 2004. (福岡), [示説]
- 073 **今岡 大**, **高橋邦之**, **水野伸匡**, **河合宏紀**, **田近正洋**, **中村常哉**, **澤木 明**, **井上宏之**, **青木雅俊**, **井坂利史**, **岡本泰幸**: 膵仮性嚢胞に対する超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ (EUS-CD) の検討. DDW2004 第68回日本消化器内視

- 鏡学会総会／第46回日本消化器病学会大会，2004.（福岡），[示説]
- 074 今岡 大，澤木 明，高橋邦之，水野伸匡，中村常哉，田近正洋，河合宏紀，井坂利史，岡本泰幸，井上宏之，青木雅俊，山雄健次：当院において術前行われた EUS-FNAB の安全性の検討. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会／第46回日本消化器病学会大会，2004.（福岡），[示説]
- 075 松本学也²⁵⁾，山雄健次²⁵⁾，羽田勝計²⁵⁾，澤木 明，大久保賢治¹⁰⁾：切除不能局所進行性膵癌に対する超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）と腹膜播種の関連性の検討. DDW2004 第68回日本消化器内視鏡学会総会／第46回日本消化器病学会大会，2004.（福岡），[示説]
- 076 中村常哉：除菌適応の反応性と染色体異常からみた胃 MALT リンパ腫の病態と治療. 出雲消化器アーベント，2004.（島根），[特別講演]
- 077 上野秀樹⁹⁾，奥坂拓志⁹⁾，船越顕博⁹⁾，石井 浩⁹⁾，山雄健次，石川 治⁹⁾，大川伸一⁹⁾，齋藤 聡⁹⁾：癌治療の進歩（肝・胆・膵）遠隔転移を有する膵癌に対する塩酸イリノテカン（CPT-11）の後期臨床第2相試験. 第42回日本癌治療学会総会，2004.（京都），[ワークショップ]
- 078 澤木 明，水野伸匡，高橋邦之，中村常哉，田近正洋，河合宏紀，山雄健次：進行 Gastrointestinal Stromal Tumor（GIST）に対するイマチニブ・メシレートの治療成績. 第42回日本癌治療学会総会，2004.（京都），[一般演題]
- 079 山雄健次：Interventional EUS：一超音波内視鏡下穿刺生検と治療への応用一. 第434回鳥取県東部医師会臨床懇話会，2004.（鳥取），[特別講演]
- 080 中村常哉，中村栄男¹⁵⁾：除菌適応の反応性と染色体異常からみた胃 MALT リンパ腫の病態と治療. 第6回北海道消化器病フォーラム，2004.（札幌），[特別講演]
- 081 山雄健次：膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）と膵粘液性嚢胞腫瘍（MCN）の臨床像—診断から治療まで. 第27回肝胆膵の夕べの会，2004.（鹿児島），[特別講演]
- 082 河合宏紀，中村常哉，田近正洋，澤木 明，水野伸匡，高橋邦之，井坂利史，今岡 大，岡本泰幸，井上宏之，青木雅俊，山雄健次：Rituximab 単独投与が奏効した十二指腸・小腸濾胞性リンパ腫の一例. 第42回小腸研究会，2004.（名古屋），[一般演題]
- 083 山雄健次：超音波内視鏡・超音波内視鏡下穿刺. 第7回近畿消化器内視鏡ガイドライン講習会，2004.（大阪），[講演]
- 084 中村常哉，安田一朗³⁰⁾：EUS. 第47回日本消化器内視鏡学会東海地方会，2004.（岐阜），[シンポジウム（座長）]
- 085 田近正洋，中村常哉，河合宏紀：「消化管疾患の内視鏡的粘膜切除術」早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の有用性の検討. 第47回日本消化器内視鏡学会東海地方会，2004.（岐阜），[シンポジウム]
- 086 今岡 大，高橋邦之，山雄健次：当院における超音波内視鏡下吸引生検（EUS-FNAB），および超音波内視鏡下治療（Interventional EUS）の現状. 第47回日本消化器内視鏡学会東海地方会，2004.（岐阜），[シンポジウム]
- 087 井上宏之，高橋邦之，水野伸匡，澤木 明，中村常哉，田近正洋，河合宏紀，井坂利史，今岡 大，岡本泰幸，青木雅俊，山雄健次，谷田部恭¹⁵⁾：診断に苦慮し超音波内視鏡下穿刺吸引組織診（EUS-FNAB）が確定診断に有用であった膵癌の一例. 第47回日本消化器内視鏡学会東海地方会，2004.（岐阜），[一般演題]
- 088 青木雅俊，田近正洋，中村常哉，澤木 明，水野伸匡，河合宏紀，高橋邦之，井坂利史，今岡 大，岡本泰幸，井上宏之，谷田部恭¹⁵⁾，山雄健次：盲腸，回腸末端，直腸に浸潤した虫垂癌の一例. 第101回日本消化器病学会東海地方会，2004.（愛知），[一般演題]
- 089 山雄健次：膵癌の治療—最近のトピックス. 山口県膵癌懇話会，2005.（山口），[特別講演]
- 090 澤木 明，水野伸匡，高橋邦之，中村常哉，田近正洋，河合宏紀，井坂利史，今岡 大，岡本泰幸，井上宏之，青木雅俊，山雄健次：進行 Gastrointestinal Stromal Tumor（GIST）に対するイマチニブ・メシレートの治療成績. 第1回日本消化管学会総会，2005.（名古屋），[ワークショップ]
- 091 田近正洋：「大腸がんの診断と内視鏡治療について」. 愛知県がんセンター第8回臨床腫瘍セミナー，2005.（名古屋），[講演]
- 092 山雄健次：超音波内視鏡診断（胆膵）. 第15回日本内視鏡学会東海セミナー，2005.（三重），[セミナー（座長）]
- 093 川内章裕²⁷⁾，山雄健次：膵臓. 第13回クリニカル・ビデオフォーラム（CVF），2005.（東京），[ビデオフォーラム（座長）]
- 094 井上宏之，山雄健次，水野伸匡，高橋邦之，澤木 明，中村常哉，田近正洋，河合宏紀，井坂利史，今岡 大，岡本泰幸，青木雅俊：胆膵領域におけるコンベックス型超音波内視鏡の標準走査. 第13回クリニカル・ビデオフォーラム（CVF），2005.（東京），[ビデオフォーラム]
- 095 中村常哉：超音波内視鏡 消化管疾患. 第15回日本消化器内視鏡学会東海セミナー，2005.（津），[講演]
- 096 山雄健次：膵癌の診断—最新の画像診断法と生検診断について—. 膵臓セミナー，2005.（北九州），[特別講演]
- 097 徳山泰治¹¹⁾，宮井博隆¹¹⁾，清水泰博¹¹⁾，安井健三¹¹⁾，今岡 大，高橋邦之，水野伸匡，澤木 明，山雄健次：腹腔内へ穿破した膵管内乳頭腫瘍の1例. 第56回東海胆道研究会プログラム，2005.（名古屋），[一般演題]
- 098 田近正洋：消化器2. 第195回日本内科学会東海地方会，2005.（津），[座長]
- 099 青木雅俊，田近正洋，中村常哉，澤木明，河合宏紀，井坂利史，今岡大，岡本泰幸，井上宏之，山雄健次：FDG-PET が病期診断に有用であった胃 MALT リンパ腫の一例. 第195回日本内科学会東海地方会，2005.（津），[一般演題]
- 100 山雄健次：超音波内視鏡による膵・胆道領域の標準的抽出法 超音波内視鏡下穿刺術の適応と実際. 超音波内視鏡ライブデモ 第8回熊本 EUS セミナー，2005.（熊本），[講演 & ライブデモンストレーション]
- 101 山雄健次：お腹のがんを治すには～消化器癌治療の現状と将来について～. 県民講座，2005.（名古屋），[講座（司会）]
- 102 中村常哉：お腹のがんを治すには～消化器癌治療の現状と将来について～カメラで胃がんを治すには. 県民講座，

2005. (名古屋), [講座]
- 103 **水野伸匡**：お腹のがんを治すには～消化器癌治療の現状と将来について～膵臓がんと言われたら. 県民講座, 2005. (名古屋), [講座]
- 104 **澤木 明**：お腹のがんを治すには～消化器癌治療の現状と将来について～薬でがんを治すには. 県民講座, 2005. (名古屋), [講座]
- 105 **中村常哉**：胃 MALT リンパ腫の診断と治療の現況. 第 8 回岡崎消化器病の集い, 2005. (岡崎), [特別講演]

¹⁾国立がんセンター東病院, ²⁾大阪大学医学部附属病院消化器外科, ³⁾北海道大学第三内科, ⁴⁾国立病院呉医療センター外科, ⁵⁾九州がんセンター, ⁶⁾国立がんセンター中央病院, ⁷⁾神奈川がんセンター, ⁸⁾大阪府立成人病センター, ⁹⁾青森県立中央病院消化器内科, ¹⁰⁾厚生連加茂病院, ¹¹⁾消化器外科部, ¹²⁾三重県立総合医療センター消化器科, ¹³⁾大阪市立大学医学部消化器器官制御内科学, ¹⁴⁾血液・細胞療法部, ¹⁵⁾遺伝子病理診断部, ¹⁶⁾相生山病院, ¹⁷⁾千葉大学大学院医学研究院腫瘍内科学, ¹⁸⁾山口大学消化器病態内科学, ¹⁹⁾京都府立医科大学病理学, ²⁰⁾愛知医科大学消化器内科, ²¹⁾愛知医科大学病院病理部, ²²⁾名古屋赤十字病院外科, ²³⁾名古屋赤十字病院病理部, ²⁴⁾腫瘍病理部, ²⁵⁾旭川医科大学第 2 内科学講座, ²⁶⁾岐阜大学医学部附属病院光学医療診療部第一内科, ²⁷⁾池袋病院外科

呼吸器内科

- 001 **Hida, T**: WJTOG study of the EGFR inhibitor gefitinib in NSCLC. The 1st WJTOG international symposium. [シンポジウム] 2004.
- 002 **樋田豊明**：COX-2 を標的とした肺癌の治療. 第63回日本癌学会総会, 2004 (福岡), [シンポジウム]
- 003 **樋田豊明**：肺癌治療における分子標的としての COX-2 ー基礎的検討から臨床応用へ. 第45回日本肺癌学会総会, 2004, (横浜), [シンポジウム]
- 004 **吉田公秀, 清水淳市¹⁾, 堀尾芳嗣, 樋田豊明, 杉浦孝彦, 谷田部恭²⁾**：大腸転移を来した肺腺癌の 1 例. 第85回中部肺癌学会, 2004, (松本), [口演]
- 005 **堀尾芳嗣, 田中寿明, 吉田公秀, 樋田豊明, 杉浦孝彦, 谷田部恭²⁾**：Primary lymphoepithelioma-like carcinoma の 1 例. 第27回日本呼吸器内視鏡学会総会, 2004. 6. 2, (大阪), [ポスター]
- 006 **谷田部恭³⁾, 堀尾芳嗣, 光富徹哉³⁾, 高橋 隆¹⁴⁾**：公開されたヒトゲノム情報を利用した組織特異的発現遺伝子の同定とその応用. 日本癌学会, 2004. 9. 30, (福岡), [ポスター]
- 007 **吉田公秀, 清水淳市¹⁾, 堀尾芳嗣, 樋田豊明, 杉浦孝彦**：進展型小細胞肺癌脳転移例の検討. 第45回日本呼吸器学会総会, 2004. 10, (横浜), [ポスター]
- 008 **堀尾芳嗣, 杉浦孝彦, 大江裕一郎⁵⁾, 根来俊一⁶⁾, 松井 薫⁷⁾, 中川和彦⁸⁾, 大林加代子⁶⁾, 高田佳木⁶⁾, 西脇 裕⁹⁾, 横田総一郎¹⁰⁾, 河原正明¹¹⁾, 西條長宏⁵⁾, 福岡正博⁸⁾, 有吉 寛¹²⁾**：進展型小細胞肺癌に対するアムルピシンとシスプラチンの

併用第 I / II 相臨床試験. 肺癌学会総会, 2004. 10. 26, (横浜), [口演]

- 009 **堀尾芳嗣, 清水淳市¹⁾, 吉田公秀, 樋田豊明, 杉浦孝彦**：小細胞肺癌株に対するアデノウイルス Rb とアデノウイルス p53 の導入効果. 肺癌学会総会, (横浜), [口演]
- 010 **吉田公秀, 清水淳市¹⁾, 堀尾芳嗣, 樋田豊明, 杉浦孝彦**：進展型小細胞肺癌脳転移例の検討. 肺癌学会総会, 2004. 10. 26 (横浜), [ポスター]
- 011 **清水淳市¹⁾, 堀尾芳嗣, 吉田公秀, 樋田豊明, 杉浦孝彦, 谷田部恭²⁾**：右上葉無気肺を呈した肺 MALT リンパ腫の 1 例. 第104回日本結核病学会東海地方会／第86回日本呼吸器学会東海地方会. 2004, 11. 21 (静岡), [口演]
- 012 **堀尾芳嗣, 岡本 勇⁸⁾, 吉澤弘久¹³⁾, 今村文生¹⁴⁾, 岩崎吉伸¹⁵⁾, 倉田宝保³⁾, 山本信之¹⁶⁾**：ゲムシタピン＋プラチナ製剤併用の可能性と課題：第 3 回 GEM + Platinum Advisory Board, 2004. 11. 14 (名古屋)
- 013 **清水淳市¹⁾, 堀尾芳嗣, 吉田公秀, 樋田豊明, 杉浦孝彦, 谷田部恭²⁾**：気管支鏡下高周波スネアにて切除した気管支内過誤腫の 1 例. 第28回日本呼吸器内視鏡学会中部支部会. 2004, 12. 4 (静岡), [口演]
- 014 **吉田公秀**：進行肺癌における化学療法への進歩. 第 8 回がんセンター病院・臨床腫瘍学セミナー, 2005. 1, 愛知県がんセンター病院

¹⁾レジデント, ²⁾遺伝子病理診断, ³⁾胸部外科, ⁴⁾分子腫瘍学部, ⁵⁾国立がんセンター中央病院, ⁶⁾兵庫県立成人病センター, ⁷⁾大阪府立呼吸器アレルギー医療センター, ⁸⁾近畿大学附属病院, ⁹⁾国立がんセンター東病院, ¹⁰⁾国立療養所刀根山病院, ¹¹⁾国立病院機構近畿中央胸部疾患センター, ¹²⁾県立愛知病院, ¹³⁾新潟大学大学院, ¹⁴⁾大阪府立成人病センター, ¹⁵⁾京都医科大学, ¹⁶⁾静岡がんセンター

血液細胞療法部・薬物療法部

- 001 **Kagami Y, Katagiri T¹⁾, Kaneta Y¹⁾, Tsuruo T¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Ohno R²⁾**: Validation study on the prediction of response to imatinib mesylate in chronic myeloid leukemia (CML) patients by genome-wide cDNA microarray analysis. 46th Annual Meeting of American Society of Hematology, 2004, (San Diego USA), [ポスター]
- 002 **Morishima Y**: HLA matching and transplant outcome. 5th International Donor Registry Conference, 2004, (東京), [口演]
- 003 **大城 綾³⁾, 鏡味良豊, 川瀬孝和³⁾, 菊池我子³⁾, 尾山 卓, 神谷悦功, 田地浩史, 小椋美知則, 森島泰雄, 中村栄男⁴⁾, 木下朝博³⁾**：ホジキン病寛解中に EB ウイルス関連リンパ増殖疾患を発症した一例. 第44回日本リンパ網内系学会学術総会, 2004, (京都), [ポスター]
- 004 **鳥飼宏基⁶⁾, 赤塚美樹⁶⁾, 大庭 拓⁷⁾, 元吉和夫⁸⁾, 森島泰雄, 小寺良尚⁷⁾, 高橋利忠⁶⁾**：TMSB 4 Y の 5 非翻訳領域コードされる新規マイナー組織適合抗原の同定. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都),

[ワークショップ]

- 005 寺倉精太郎⁵⁾, 村田 誠⁵⁾, 西田徹也⁵⁾, 恵美宣彦⁵⁾, 赤塚美樹⁶⁾, 森島泰雄, 高久史磨⁹⁾, 小寺良尚⁷⁾, 直江知樹⁵⁾: 同種骨髄移植における UGT 2 B17 遺伝子欠損の影響. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [ワークショップ]
- 006 五明広志¹⁰⁾, 鏡味良豊, 加藤春美¹⁰⁾, 川瀬孝和³⁾, 大城 綾³⁾, 尾山 卓, 神谷悦功, 田地浩史, 中村栄男⁴⁾, 小椋美知則, 森島泰雄: 初発時多発性の肝病変を認めた肝原発濾胞性リンパ腫の1例. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [ポスター]
- 007 伊藤国明¹¹⁾, 五十嵐忠彦¹¹⁾, 渡辺 隆¹²⁾, 小椋美知則, 森島泰雄, 堀田知光¹³⁾, 木下朝博⁵⁾, 松野吉宏¹²⁾, 大橋靖雄¹⁾, 飛内賢正¹²⁾: 未治療進行期低悪性度 B 細胞リンパ腫に対する Rituximab-CHOP 療法同時投与と連続投与のランダム化第II相試験. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [ポスター]
- 008 小椋美知則, 鏡味良豊, 伊藤国明¹¹⁾, 飛内賢正¹²⁾, 張 高明⁴⁾, 相川啓子¹⁵⁾, 石塚直樹¹²⁾, 福田治彦¹²⁾, 堀田知光¹³⁾, 下山正徳¹²⁾, JOCG, LSG¹⁶⁾: Low (L), low-intermediate (LI) risk 群の aggressive NHL に対する CHOP 療法の臨床第II相試験 (JCOG9508). 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [ワークショップ]
- 009 木下朝博⁵⁾, 羽生一秀¹⁷⁾, 弓削征章⁵⁾, 永井秀和⁵⁾, 直江知樹⁵⁾, 森島泰雄, 伊藤国明¹¹⁾, 堀田知光¹³⁾, 榎並淳平¹⁷⁾¹⁸⁾, 飛内賢正¹²⁾: 低悪性度 B 細胞リンパ腫に対する Rituximab-CHOP 同時投与と連続投与の比較試験における MRD 定量. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [ワークショップ]
- 010 鏡味良豊, 大城 綾³⁾, 森島泰雄, 瀬戸加大¹⁹⁾: リンパ節内支持細胞による ATLL 腫瘍細胞株の樹立. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [ポスター]
- 011 大城 綾³⁾, 小椋美知則, 尾山 卓, 神谷悦功, 田地浩史, 鏡味良豊, 森島泰雄: auto-PBSCT 後, リツキシマブ1回投与後に無 Y グロブリン血症を発症した濾胞性リンパ腫の1例. 第66回日本血液学会総会・第46回日本臨床血液学会総会, 2004, (京都), [口演]
- 012 亀岡吉弘¹⁹⁾, 田川博之¹⁹⁾, 山口素子²⁰⁾, 森島泰雄, 中村栄男⁴⁾, 瀬戸加大¹⁹⁾: びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) における Array CGH を用いた 3p14.2 領域の解析. 第63回日本癌学会総会, 2004, (福岡), [ポスター]
- 013 太田明伸¹⁹⁾, 田川博之¹⁹⁾, シバスダランカルナン¹⁹⁾, 都築 忍¹⁹⁾, 清藤 勉²¹⁾, 森島泰雄, 中村栄男⁴⁾, 瀬戸加大¹⁹⁾: 悪性リンパ腫における 13p31 領域の増幅責任遺伝子 C13orf25 の同定. 第63回日本癌学会総会, 2004, (福岡), [ポスター]
- 014 田川博之¹⁹⁾, 鈴木律朗¹⁹⁾, シバスダランカルナン¹⁹⁾, 都築 忍¹⁹⁾, 細川好孝¹⁹⁾, 松尾恵太郎²²⁾, 森島泰雄, 中村栄男⁴⁾, 瀬戸加大¹⁹⁾: マントル細胞性リンパ腫のゲノムワイドな Array-based CGH 解析. 第63回日本癌学会総会, 2004, (福岡), [ワークショップ]
- 015 赤塚美樹⁶⁾, 鳥飼宏基⁶⁾, 宮崎幹規⁶⁾, 出町文子⁶⁾, 伊藤嘉規⁶⁾,

辻村邦夫⁶⁾, 元吉和夫⁶⁾, 森島泰雄, 小寺良尚⁷⁾, 葛島清隆⁶⁾, 高橋利忠⁶⁾: Y 染色体上に存在する TMSB 4 Y の 5' 非翻訳領域にコードされる HLA-A33 拘束性の新規マイナー組織適合抗原の同定. 第63回日本癌学会総会, 2004, (福岡), [ポスター]

- 016 鏡味良豊, 大野竜三²⁾: 慢性骨髄性白血病に対するイマチニブによる個別化治療の可能性. 第42回日本癌治療学会総会, 2004, (京都), [シンポジウム]
- 017 鳥飼宏基⁶⁾, 赤塚美樹⁶⁾, 宮崎幹規⁶⁾, 辻村朱音⁷⁾, 元吉和夫⁸⁾, 森島泰雄, 小寺良尚⁷⁾, 高橋利忠⁶⁾: HLA-A*3303 および HLA-A*3101 拘束性新規マイナー組織適合抗原の同定. 第27回日本造血細胞移植学会総会, 2004, (岡山), [ワークショップ]
- 018 羽藤文彦²³⁾, 鈴木賢一²³⁾, 加藤隆幸²³⁾, 西木さおり²³⁾, 赤堀美佳²³⁾, 坂本恵利奈²³⁾, 長谷川太郎²³⁾, 阪本親彦²³⁾, 山根孝久²³⁾, 小椋美知則, 日野雅之²³⁾, 北川誠一²³⁾: ヒト好中球の Rituximab 依存性 ADCC 活性に対する G-CSF の影響. 日本生理学会, 2004, (北海道), [ポスター]
- 019 中村栄男⁴⁾, 尾山 卓: Senile EBV+ B-cell lymphoproliferative disorder. 第7回日本血液病理研究会, 2004, (京都), [講演]

¹⁾ 東京大学, ²⁾ 総長, ³⁾ レジデント, ⁴⁾ 遺伝子病理診断部, ⁵⁾ 名古屋大学, ⁶⁾ 腫瘍免疫学, ⁷⁾ 名古屋第一赤十字病院, ⁸⁾ 防衛医科大学校, ⁹⁾ 骨髄移植推進財団, ¹⁰⁾ 研修生, ¹¹⁾ 国立がんセンター東病院, ¹²⁾ 国立がんセンター中央病院, ¹³⁾ 東海大学, ¹⁴⁾ 新潟県立がんセンター新潟病院, ¹⁵⁾ 独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター, ¹⁶⁾ JCOG, LSG, ¹⁷⁾ 全業工業研究所, ¹⁸⁾ 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター, ¹⁹⁾ 遺伝子医療研究部, ²⁰⁾ 三重大学, ²¹⁾ 免疫生物研究所, ²²⁾ 疫学予防部, ²³⁾ 大阪市立大学

臨床検査部・遺伝子病理診断部

- 001 Shimada S¹⁾, Tsuzuki T²⁾, Nagasaka T¹⁾, Kuroda M³⁾, Hara K⁴⁾, Takahashi E, Hayakawa S⁵⁾, Ono K⁶⁾, Maeda N²⁾, Mori N¹⁾: Nestin Expression in Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor (MPNST) and Other Soft Tissue Tumors. 第94回 ABSTRACTS Annual Meeting, 2005, (USA), [示説]
- 002 Tsuzuki T²⁾, Hara K⁴⁾, Takahashi E, Maeda N²⁾: Wilm's Tumor Gene Protein (WT-1) and Calretinin (CAL) Immunoreactivity in Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST). 第94回 ABSTRACTS Annual Meeting, 2005, (USA), [示説]
- 003 谷田部恭, 堀尾芳嗣⁷⁾, 光富徹哉³⁾, 高橋 隆¹⁾: 肺腫瘍の病理診断の問題点—分子生物学的性状からのアプローチ. 第93回日本病理学会, 2004, (札幌), [ワークショップ]
- 004 上山勇二, 小林雅子, 村上裕美, 鈴木 緑, 中村栄男, 谷田部恭, 高橋恵美子, 塚本徹哉⁹⁾, 越川 卓¹⁰⁾: 腺様嚢胞癌様の細胞所見を呈した乳腺 Adenomyoepithelioma の一例. 第118回日本臨床細胞学会東海連合会例会, 2004, (名古屋), [口演]
- 005 上山勇二, 小林雅子, 村上裕美, 鈴木 緑, 中村栄男, 谷

- 田部恭, 高橋恵美子, 塚本徹哉⁹⁾, 越川 卓¹⁰⁾: 子宮頸部擦過細胞診で検出された内臓腺癌の一例. 第119回日本臨床細胞学会東海連合会例会, 2004, (名古屋), [口演]
- 006 谷田部恭, 堀尾芳嗣⁷⁾, 光富徹哉⁸⁾, 高橋 隆¹⁾: 公開されたヒトゲノム情報を利用した組織特異的発現遺伝子の同定とその応用. 第63回日本癌学会, 2004, (福岡), [ポスター]
- 007 岩淵英人¹⁾, 岩田広治¹¹⁾, 谷田部恭: 乳癌の免疫組織学的発現プロファイルの検討. 第63回日本癌学会, 2004, (福岡), [ポスター]
- 008 谷田部恭: ポスター総括「癌抑制遺伝子・染色体」. 第45回肺癌学会, 2004, (横浜), [口演]
- 009 上山勇二, 小林雅子, 村上裕美, 鈴木 緑, 中村栄男, 谷田部恭, 高橋恵美子, 山雄健次¹²⁾, 越川 卓¹⁰⁾: 細胞診断において判定困難であった膀胱癌の一例. 第120回日本細胞学会東海連合会例会, 2004, (名古屋), [口演]
- 010 谷田部恭, 高坂貴行³⁾, 高橋 隆¹⁾, 光富徹哉⁸⁾: 肺癌の発生分子機序に関する特別会議. 米国癌学会, 2005, (米国), [ポスター]
- 011 谷田部恭, 高坂貴行³⁾, 高橋 隆¹⁾, 光富徹哉⁸⁾: EGFR 遺伝子の末梢気道上皮ユニット由来の腺癌特異的変異. 米国ーカナダ病理学会, 2005, (米国), [ポスター]
- 012 高橋恵美子, 都築豊徳²⁾, 中村栄男, 立山 尚¹³⁾, 栄本忠昭¹³⁾: 胸腺上皮における FDC 発現に関する検討. 第24回日本胸腺研究会, 2005, (名古屋), [口演]

¹⁾名大, ²⁾名古屋第二日赤病院, ³⁾藤田保健衛生大, ⁴⁾愛知医科大学, ⁵⁾安城更生病院, ⁶⁾公立陶生病院, ⁷⁾呼吸器科, ⁸⁾胸部外科, ⁹⁾腫瘍病理学部, ¹⁰⁾愛知県立看護大, ¹¹⁾乳腺外科, ¹²⁾消化器内科, ¹³⁾名市大

頭頸部外科

- 001 Hasegawa Y, Hyodo I, Ogawa T, Terada A, Ijichi K¹⁾, Ando A¹⁾, Arima S¹⁾, Suzuki Y¹⁾: Supracricoid hemilaryngopharyngectomy for pyriform sinus cancer. 6th International Conference on Head and Neck Cancer, 2004, (Washington, DC USA), [口演]
- 002 Goto M²⁾, Hasegawa Y, Ogawa T, Ogawa H, Hanai N³⁾, Ijichi K¹⁾, Adachi M⁴⁾, Hyodo I, Terada A: Prediction of chemotherapy using multigene analysis in head and neck squamous cell carcinoma. 6th International Conference on Head and Neck Cancer, 2004, (Washington, DC USA), [口演]
- 003 Ogawa T, Ijichi K¹⁾, Adachi M²⁾, Terada A, Hyodo I, Aoki K⁵⁾, Nakashima S⁵⁾, Ito Y⁵⁾, Hasegawa Y: Pretreatment 5FU followed by CDDP is more cytotoxic than the opposite sequence in HNSCC cell lines. 6th International Conference on Head and Neck Cancer, 2004, (Washington, DC USA), [口演]
- 004 Kazeto T⁶⁾, Hyodo I, Kamei Y⁷⁾, Torii S⁷⁾: Long term outcome of the reverse-flow peroneal flap. British Association of Plastic Surgeons Winter Meeting, 2004, (London), [口演]
- 005 兵藤伊久夫, 長谷川泰久, 寺田聡広, 小川徹也, 藤本保志⁸⁾,

- 鳥居修平⁷⁾: 下咽頭・頸部食道癌再建術式の検討. 第47回日本形成外科学会, 2004, (東京), [口演]
- 006 兵藤伊久夫, 藤本保志⁸⁾, 長谷川泰久, 寺田聡広, 小川徹也, 鳥居修平⁷⁾: 口腔・咽頭癌再建後, 嚥下透視の重要性. 第47回日本形成外科学会, 2004, (東京), [ポスター]
- 007 長谷川泰久, 林崎勝武⁹⁾, 菅澤 正¹⁰⁾, 斉川雅久¹¹⁾, 中島格¹²⁾, 西條 茂¹³⁾, 吉積 隆¹⁴⁾, 西嶋 渡¹⁵⁾, 岸本誠司¹⁶⁾, 川端一嘉¹⁷⁾: 頸部郭清術の分類と名称の提案. 第28回日本頭頸部腫瘍学会, 2004, (福岡), [ミニシンポジウム]
- 008 兵藤伊久夫, 長谷川泰久, 寺田聡広, 小川徹也, 藤本保志⁸⁾, 鳥居修平⁷⁾: 口腔癌再発後の舌全摘・亜全摘, 遊離皮弁による再建術の検討. 第28回日本頭頸部腫瘍学会, 2004, (福岡), [ミニシンポジウム]
- 009 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 伊地知圭¹⁾, 安藤 篤¹⁾, 有馬 忍¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 長谷川泰久: 当科における喉頭亜全摘症例 (CHEP) の検討. 第29回日本頭頸部腫瘍学会, 2004, (福岡), [ミニシンポジウム]
- 010 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久: 当科における喉頭亜全摘術一CHEP, CHP一の検討. 第117回東海地方部会連合講演会, 2004, (名古屋), [口演]
- 011 長谷川泰久: 頸部リンパ節転移の治療方針. 第13回静岡県頭頸部腫瘍研究会, 2004, (静岡), [特別口演]
- 012 安藤 篤¹⁾, 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久: 副鼻腔に再発した Malignant Periphereal Nerve Sheath Tumor の一例. 第118回東海地方部会連合講演会, 2004, (三重), [口演]
- 013 鈴木康士¹⁾, 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久: 緩和医療チームの協力により良好な疼痛管理が行えた喉頭癌再発症例. 第118回東海地方部会連合講演会, 2004, (三重), [口演]
- 014 兵藤伊久夫, 寺田聡広, 小川徹也, 長谷川泰久, 鳥居修平⁷⁾: 下顎再建におけるヒラメ筋付き腭骨皮弁. 第58回東海マイクロサージャリー研究会, 2004, (名古屋), [口演]
- 015 足立 誠¹⁸⁾, 安井善宏⁴⁾, 兼松宜武¹⁸⁾, 小川徹也, 長谷川泰久, 石崎寛治⁴⁾: 頭頸部がん細胞におけるシスプラチン耐性と DNA polymerase ζ . 第63回日本癌学会学術総会, 2004, (福岡), [ポスター]
- 016 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久: 頭頸部扁平上皮癌に対するドセタキセルとシスプラチン併用化学療法の第 I 相試験. 第3回東海頭頸部癌化学療法研究会, 2004, (名古屋), [口演]
- 017 兵藤伊久夫, 寺田聡広, 小川徹也, 長谷川泰久, 鳥居修平⁷⁾: 口腔癌患者の術後感染に関する検討. 日本マイクロサージャリー学会学術集会, 2004, (熊本), [口演]
- 018 寺田聡広, 小川徹也, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久: センチネルリンパ節画像化の実験. 第119回東海地方部会連合講演会, 2004, (名古屋), [口演]
- 019 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 長谷川泰久: 頭頸部腫瘍学セミナー. 第8回がんセンター病院・臨床腫瘍学セミナー, 2005, (名古屋), [口演]

- 020 山田裕子³⁾, 中島 務³⁾, 長谷川泰久, 菅沼良規¹⁹⁾, 早川和喜²⁾, 花井信広³⁾, 越川 卓²⁰⁾: 頭頸部外科外来におけるエコー下細胞診の現状～non-aspiration 法を中心に. 第22回東海頭頸部腫瘍研究会, 2005, (名古屋), [口演]
- 021 小川徹也, 後藤満雄²⁾, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久: 頭頸部扁平上皮癌における抗癌剤感受性と効果規定因子の検討. 第22回東海頭頸部腫瘍研究会, 2005, (名古屋), [口演]
- 022 足立 誠²⁾¹⁸⁾, 長谷川泰久, 小川徹也, 伊地知圭¹⁾, 兼松宣武¹⁸⁾, 福島正和²¹⁾, 石崎寛治³⁾: 頭頸部がん細胞におけるシスプラチン耐性と DNA polymerase ζ . 第38回制癌剤適応研究会, 2005, (和歌山), [口演]
- 023 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久, 齋藤 清²⁾: 頭蓋底浸潤を伴う鼻副鼻腔悪性非上皮性腫瘍に対する治療方針の検討. 第21回東海頭蓋底外科研究会, 2005, (名古屋), [口演]
- 024 小澤泰次郎¹⁾, 寺田聡広, 小川徹也, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 長谷川泰久: 口腔癌手術における buccal fat pad flap (頬脂肪体弁) の有用性について. 第120回東海地方部会連合講演会, 2005, (名古屋), [口演]
- 025 小川徹也, 寺田聡広, 兵藤伊久夫, 安藤 篤¹⁾, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾, 長谷川泰久, 齋藤 清²⁾: 頭蓋底浸潤を伴う鼻副鼻腔悪性非上皮性腫瘍に対する治療方針の検討. 第120回東海地方部会連合講演会, 2005, (名古屋), [口演]
- 026 安藤 篤¹⁾, 長谷川泰久, 寺田聡広, 小川徹也, 鈴木康士¹⁾, 小澤泰次郎¹⁾: 喉頭部分切除, 亜全摘例の検討. 第17回日本喉頭科学会総会・学術講演会, 2005, (名古屋), [口演]

¹⁾レジデント, ²⁾腫瘍病理部, ³⁾名古屋市立大学耳鼻咽喉科, ⁴⁾中央実験部, ⁵⁾岐阜大学耳鼻咽喉科, ⁶⁾市立四日市病院形成外科, ⁷⁾名古屋大学形成外科, ⁸⁾名古屋大学耳鼻咽喉科, ⁹⁾千葉県がんセンター頭頸科, ¹⁰⁾東京大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科, ¹¹⁾国立がんセンター東病院頭頸科, ¹²⁾久留米大学耳鼻咽喉医科, ¹³⁾宮城県立がんセンター耳鼻咽喉科, ¹⁴⁾群馬県立がんセンター頭頸部外科, ¹⁵⁾埼玉県立がんセンター頭頸部外科, ¹⁶⁾東京医科歯科大学大学院頭頸部外科, ¹⁷⁾癌研究会附属病院頭頸科, ¹⁸⁾朝日大学歯学部第2口腔外科, ¹⁹⁾成田記念病院耳鼻咽喉科, ²⁰⁾愛知県看護大学病理学, ²¹⁾大鵬薬品工業(株)徳島研究センター, ²²⁾名古屋大学脳神経外科

胸部外科部

- 001 Mitsudomi T: EGFR mutations and gefitinib sensitivity in non-small cell lung cancer. Iressa: The developing science implications of EGFR mutation story and way forwards, 2004, (京都), [口演]
- 002 Mitsudomi T: Clinical and biological implications of EGFR mutations in gefitinib treatment in NSCLC. 2004 EGFR forum, 2004, (Taiwan), [特別講演]
- 003 石塚直樹¹⁾, 渡辺 隆²⁾, 篠田雅幸: 第Ⅱ／Ⅲ相試験デザイン (JCOG0303を例に). JCOG 総合班会議, 2004, (東京)

- 004 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 陶山元一³⁾, 光富徹哉: cT1bN0 Stage I 食道癌の治療成績. 第104回日本外科学会総会, 2004, (大阪), [ポスター]
- 005 光富徹哉: 肺がんの分子生物学から個別化医療へ. 第3回 South Osaka Translational Research Meeting, 2004, (大阪), [特別講演]
- 006 光富徹哉: 肺がんの外科治療分子生物学から個別化医療へ. 第130回佐賀胸部レ線アーベント, 2004, (佐賀), [特別講演]
- 007 光富徹哉: 非小細胞肺癌の外科治療と分子標的薬イレッサ. 第21回日本呼吸器外科学会総会, 2004, [ランチョンセミナー]
- 008 波戸岡俊三, 陶山元一³⁾, 篠田雅幸, 伊藤志門⁴⁾, 雪上晴弘⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 遠藤秀紀³⁾, 光富徹哉: 術前胸部 CT 写真で間質影を認めた肺癌症例の解析. 第21回日本呼吸器外科学会, 2004, (横浜), [ポスター]
- 009 森 正一 (名古屋大学医学部呼吸器外科), 吉岡 洋⁵⁾, 伊藤正夫⁵⁾, 梶政 洋⁵⁾, 宇佐見載恭⁵⁾, 内山美佳⁵⁾, 佐藤尚他⁵⁾, 福井高幸³⁾, 今泉宗久⁵⁾, 上田裕一⁵⁾: 若年者肺癌切除例の検討. 第21回日本呼吸器外科学会総会, 2004, (横浜), [ポスター]
- 010 遠藤秀紀³⁾, 伊藤志門⁴⁾, 雪上晴弘⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 陶山元一³⁾, 光富徹哉: 遺伝子発現解析は肺腺癌患者の予後予測を可能にするか. 第21回日本呼吸器外科学会総会, 2004, (横浜), [ワークショップ]
- 011 雪上晴弘⁴⁾, 谷田部恭⁶⁾, 遠藤秀紀³⁾, 川口晃司⁴⁾, 伊藤志門⁴⁾, 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 陶山元一³⁾, 光富徹哉: 胸腺上皮性腫瘍手術症例の臨床病理学的検討. 第21回日本呼吸器外科学会総会, 2004, (横浜), [ポスター]
- 012 川口晃司⁴⁾: 肺癌手術のリンパ節郭清の範囲縮小についての検討. 第21回日本呼吸器外科学会総会, 2004, (横浜), [ワークショップ]
- 013 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 陶山元一³⁾, 伊藤志門⁴⁾, 雪上晴弘⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 遠藤秀紀³⁾, 光富徹哉: 食道癌に対する salvage surgery. 第58回日本食道学会, 2004, (東京), [シンポジウム]
- 014 光富徹哉: 肺がんの外科治療. がん制圧シンポジウム, 2004, (名古屋), [シンポジウム]
- 015 光富徹哉: 肺がんの外科治療成績の向上をめざして. 愛知県外科医会 生涯教育研修会, 2004, (名古屋), [特別講演]
- 016 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 陶山元一³⁾, 光富徹哉: 私達の食道癌標準術式 (3領域リンパ節郭清). 第59回日本消化器外科学会, 2004, (横浜), [ビデオ]
- 017 雪上晴弘⁴⁾, 谷田部恭⁶⁾, 篠田雅幸, 波戸岡俊三, 森 正一, 川口晃司⁴⁾, 遠藤秀紀³⁾, 岡阪敏樹⁴⁾, 光富徹哉: 当院における肺癌再切除症例の検討. 第17回中部肺癌手術研究会, 2004, (名古屋), [口演]
- 018 光富徹哉: 肺がんにおける EGFR 突然変異とゲフィチニブ感受性. WJTOG great debate, 2004, (大阪), [口演]
- 019 光富徹哉: ASCO2004 review: EGFR mutations and clinical trials in lung cancer surgery. JCOG 肺がん外科グループ班会議, 2004, (東京), [口演]

- 020 **光富徹哉**：肺がんの分子ステージングは可能か。第63回日本癌学会総会シンポジウム29, 2004, (福岡), [シンポジウム]
- 021 **光富徹哉**：分子標的薬剤を用いた術後補助療法。WJTOG great debate, 2004, (大阪), [口演]
- 022 **波戸岡俊三, 陶山元一³⁾, 篠田雅幸, 森 正一, 雪上晴広⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 遠藤秀紀⁴⁾, 岡坂敏樹⁴⁾, 光富徹哉**：肺癌術後再発・再燃症例に対するナベルピンを用いた外来化学療法。第45回日本肺癌学会, 2004, (横浜), [ポスター]
- 023 **森 正一, 遠藤秀紀⁴⁾, 岡坂敏樹⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 雪上晴広⁴⁾, 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 陶山元一³⁾, 光富徹哉**：肺癌における肺全摘出術の臨床的意義。第45回日本肺癌学会総会, 2004, (横浜), [ポスター発表]
- 024 **遠藤秀紀³⁾, 田嶋公平⁷⁾, 谷田部恭⁶⁾, 雪上晴広⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 岡坂俊樹⁴⁾, 高坂貴行³⁾, 森 正一, 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 光富徹哉**：肺がん患者血漿中 free DNA の定量解析。第45回日本肺癌学会総会, (横浜), [ポスター発表]
- 025 **川口晃司³⁾**：非小細胞肺癌の微小リンパ節転移と予後についての検討。第45回日本肺癌学会総会, 2004, (横浜), [ポスター]
- 026 **高坂貴行³⁾, 遠藤秀紀⁴⁾, 谷田部恭⁶⁾, 田嶋公平⁷⁾, 高橋 隆⁹⁾, 光富徹哉**：原発性肺癌切除例における上皮成長因子受容体 (EGFR) 遺伝子の突然変異の検索とその臨床的意義。第45回日本肺癌学会総会, 2004, (横浜), [要旨口演11]
- 027 **光富徹哉**：肺がんの EGFR 遺伝子突然変異とゲフィチニブ治療。第3回分子標的治療カンファレンス, 2004, (鹿児島), [特別講演]
- 028 **光富徹哉**：肺がんの外科治療について。第3回朝日肺がんフォーラム, 2004, (大阪), [公開講座]
- 029 **光富徹哉**：肺がんの術前術後補助化学療法現状と変貌。第9回富山肺癌化学療法セミナー, 2004, (富山), [特別講演]
- 030 **光富徹哉**：肺がんの術前術後補助化学療法現状と変貌。肺癌化学療法セミナー, 2004, (大阪), [特別講演]
- 031 **光富徹哉**：分子マーカーと肺がん診療。Kyowa Hakko Lung Cancer Symposium 2 K 4, 2004, (東京), [シンポジウム]
- 032 **光富徹哉**：EGFR 遺伝子変異と肺がんの診療。JCOG 肺がん内科外科グループ合同班会議, 2004, (東京), [特別講演]
- 033 **光富徹哉**：EGFR 遺伝子変異と分子標的薬イレッサ。イレッサ学術講演会, 2005, (名古屋), [特別講演]
- 034 **光富徹哉**：肺がんの術後補助化学療法の現状と展望。ブリストル肺がん治療セミナー, 2005, (浜松), [特別講演]
- 035 **岡坂敏樹⁴⁾, 谷田部恭⁶⁾, 高坂貴行³⁾, 遠藤秀紀⁴⁾, 川口晃司⁴⁾, 雪上晴広⁴⁾, 森 正一, 波戸岡俊三, 篠田雅幸, 光富徹哉**：EGFR 遺伝子の変異検出後にゲフィチニブを投与し奏功した男性再発非小細胞肺癌の2例。第86回中部肺癌学会, 2005, (名古屋), [口演]
- 036 **光富徹哉**：肺がんの分子標的治療最近の話題。第68回最新医学セミナー, 2005, (岡山)
- 037 **光富徹哉**：肺がん治療最近の話題術後補助化学療法と分子標的治療。第6回癌治療懇話会, 2005, (郡山), [特別講演]
- 038 **光富徹哉**：肺がんにおける EGFR 遺伝子変異の臨床的, 生物学的意義。第14回大阪肺癌研究会, 2005, (大阪), [特別

講演]

- 039 **光富徹哉**：分子標的治療の臨床。第3回日本臨床腫瘍学会総会ランチョンセミナー2, 2005, (横浜)
- 040 **光富徹哉**：肺がん治療最近の話題術後補助化学療法と分子標的治療。第2回神奈川呼吸器外科フォーラム, 2005, (横浜), [特別講演]
- 041 **光富徹哉**：EGFR 遺伝子変異とゲフィチニブの有効性。第3回厚生労働省ゲフィチニブ検討会, 2005, (東京)

¹⁾データセンター統計統計部門, ²⁾リンパ腫グループ JCOG 研究事務局, ³⁾愛知病院, ⁴⁾レジデント, ⁵⁾名古屋大学胸部外科, ⁶⁾遺伝子病理診断部, ⁷⁾群馬大学大学院病態総合外科学, ⁸⁾任意研修生, ⁹⁾分子腫瘍学部

乳腺外科部

- 001 **Toyama T, Iwase H¹⁾, Yamashita H²⁾, Hara Y³⁾, Sugiura H⁴⁾, Zhang Z³⁾, Fukai I³⁾, Miura Y⁵⁾, Riabowol K⁶⁾, Fujii Y³⁾**: p 33^{ING1b} stimulates the transcriptional activity of the estrogen receptor a via its activation function (AF) 2 domain. 18th Annual meeting of European Association for Cancer Research, (2004), (Innsbruck, Austria), [ポスター]
- 002 **岩田広治**：再発患者の IC について。乳がん患者への IC について, 2004, (福岡), [特別講演]
- 003 **岩田広治, 中村清吾⁷⁾, 戸井雅和⁸⁾, 大野真司⁹⁾, 高塚雄一¹⁰⁾, 日馬幹弘¹¹⁾, 久松和史¹²⁾, 山崎弘資¹³⁾, 佐藤康幸¹⁴⁾, 海瀬博史¹¹⁾, 増田慎三¹⁵⁾, 黒井克昌¹⁶⁾, 秋山 太¹⁷⁾**：原発肺癌に対する CEF followed by Docetaxel 併用療法による術前化学療法の実施共同試験。第12回日本乳癌学会, 2004, (小倉), [パネルディスカッション]
- 004 **岩田広治**：進行・再発肺癌に対する化学療法一欧米から日本へ広がる選択肢。第12回日本乳癌学会, 2004, (小倉), [ランチョンセミナー]
- 005 **岩田広治**：愛知県がんセンターにおける Xeloda の使用経験。第12回日本乳癌学会, 2004, (小倉), [サテライトシンポジウム]
- 006 **岩田広治**：乳癌の Primary Systemic Treatment. 乳癌化学療法学術講演会, 2004, (札幌), [特別講演]
- 007 **岩田広治**：標準的な乳癌術前・術後化学療法の考え方。多摩乳癌治療懇話会, 2004, (立川), [特別講演]
- 008 **岩田広治**：乳がんの薬物療法。金沢市医師会第29回学術セミナー, 2004, (金沢), [セミナー]
- 009 **岩田広治**：乳がんの診断から治療一最新の話題。平成16年度病診連携講演会, 2004, (名古屋), [講演]
- 010 **岩田広治, 伊藤良則¹⁸⁾, 戸井雅和⁸⁾, 佐野宗明¹⁹⁾, 佐伯俊昭²⁰⁾, 佐藤康幸¹⁴⁾, 高嶋成光²¹⁾**：HER 2 過剰発現した転移性乳癌患者に対する Vinorelbine, Trastuzumab 併用療法における Vinorelbine 薬物動態の検討。第42回日本癌治療学会, 2004, (京都), [サージカルフォーラム]
- 011 **岩田広治**：乳癌縮小手術の手技と実際一センチネルリンパ節生検。第8回乳手術手技研究会, 2004, (呉), [特別講

- 演]
- 012 **岩田広治**：愛知県がんセンターにおける乳がん診療の実
際—診断・手術・薬物療法—。第38回山梨県制癌剤臨床研
究会，2004，（甲府），[特別講演]
- 013 **岩田広治**：愛知県がんセンターにおける乳がんの実際—診
断・手術・薬物療法—。第3回京都乳癌勉強会，2004，（京
都），[特別講演]
- 014 **岩田広治**：愛知県がんセンター 乳腺外科の乳癌診療の実
際。Mamma Conference in OKINAWA，2004，（那覇），[特
別講演]
- 015 **岩田広治**：現在の乳癌診療。第1回愛知乳癌チーム医療研
究会，2005，（名古屋），[基調講演]
- 016 **岩田広治**：閉経後乳癌における最新の知見—2005. St. Gal
len—。第6回乳がん化学内分泌療法研究会，2005，（徳島），
[特別講演]
- 017 **水谷三浩**：乳房超音波検査の最先端技術リアルタイム4D
イメージングの臨床応用を中心に。日本超音波医学会，
2004，（栃木），[特別講演]
- 018 **水谷三浩**，**藤田崇史**²²⁾，**藤井正宏**²²⁾，**近藤直人**²²⁾，**青木桃
子**²³⁾，**重盛千香**²⁴⁾，**川口暢子**²²⁾，**安藤由明**³⁾，**太田大介**²⁵⁾，
遠山竜也，**亀井桂太郎**，**岩田広治**：治乳癌の UICC の TNM
分類改訂第6版の正当性の検討。第12回日本乳癌学会，
2004，（小倉），[シンポジウム]
- 019 **水谷三浩**：乳房超音波の新しい診断基準と用語。大分乳腺
画像勉強会，2004，（大分），[教育講演]
- 020 **水谷三浩**：非浸潤性乳管癌の超音波。第14回日本乳癌画像
研究会，2005，（横浜），[シンポジウム]
- 021 **水谷三浩**：構築の乱れ，乳がんの臨床。マンモグラフィ読
影講習会，2004，（名古屋），[講演]
- 022 **水谷三浩**：中間型減弱腫瘍，腫瘍像非形成病変。第6回乳
房超音波講習会，2005，（小倉），[講演]
- 023 **水谷三浩**：乳がんの臨床。マンモグラフィ読影講習会，
2005，（鈴鹿），[講演]
- 024 **水谷三浩**：構築の乱れ。マンモグラフィ読影講習会，2005，
（千葉），[講演]
- 025 **水谷三浩**：微細石灰化。マンモグラフィ読影講習会，2005，
（名古屋），[講師]
- 026 **水谷三浩**：中間型減弱腫瘍，腫瘍像非形成病変。第7回乳
房超音波講習会，2005，（筑波），[講演]
- 027 **亀井桂太郎**：当院におけるステレオガイド下マンモトーム
生検の経験。第36回東海乳腺疾患懇話会，2004，（名古屋），
[口演]
- 028 **亀井桂太郎**：当院におけるマンモトーム生検の地域ネット
ワーク構築への取り組み。第12回日本乳癌学会総会，2004，
（小倉），[示説]
- 029 **亀井桂太郎**：当院におけるセンチネルリンパ節生検の地域
連携システムの構築。第6回 Sentinel Node Navigation Sur
gery 研究会，2004，（大宮），[口演]
- 030 **遠山竜也**：乳癌術後の定期検診。乳癌骨転移コンセンサス
セミナー，2005，（名古屋），[講演]
- 031 **遠山竜也**：EBM に基づく再発乳癌の治療。若手医師乳癌
治療勉強会，2005，（名古屋），[講演]
- 032 **遠山竜也**，**水谷三浩**，**亀井桂太郎**，**安藤由明**³⁾，**太田大介**²⁵⁾，
川口暢子²²⁾，**青木桃子**²³⁾，**重盛千香**²⁴⁾，**岩田広治**：臨床試
験におけるチーム医療のあり方—Global trial を例にとっ
て。第12回日本乳癌学会総会，2004，（北九州），[口演]
- 033 **遠山竜也**，**山下啓子**²⁾，**安藤由明**³⁾，**杉浦博士**⁴⁾，**岩瀬弘敬**¹⁾，
岩田広治：乳癌における Snail 発現異常の検討。第63回日
本癌学会総会，2004，（福岡），[ポスター]
- 034 **遠山竜也**，**山下啓子**²⁾，**安藤由明**³⁾，**杉浦博士**⁴⁾，**岩瀬弘敬**¹⁾，
岩田広治：n0 乳癌における Snail 発現異常の予後因子と
しての意義。第42回日本癌治療学会総会，2004，（京都），[ポ
スター]
- 035 **遠山竜也**：乳癌診療ガイドライン薬物療法について。第2
回乳癌プリストルセミナー，2004，（一宮），[講演]
- 036 **遠山竜也**：EBM に基づく再発乳癌の治療。第11回三重乳
腺疾患研究会，2004，（津），[講演]
- 037 **遠山竜也**：乳癌診療ガイドライン薬物療法について。静岡
乳癌セミナー，2004，（静岡），[講演]
- 038 **遠山竜也**：EBM に基づく再発乳癌の治療。中外製薬社内
勉強会，2004，（名古屋），[講演]
- 039 **重盛千香**：術前化学療法54例の検討。第12回日本乳癌学
会，2004，（小倉），[口演]
- 040 **重盛千香**：術前化学療法中の腫瘍効果に稀な経過を示した
乳癌の一例。第一回日本乳癌学会中部地方会，2004，（高
山），[口演]
- 041 **重盛千香**：トラスツズマブ長期投与27例の検討。第42回日
本癌治療学会，2004，（京都），[ワークショップ]
- 042 **重盛千香**：カベシタピン投与41例の検討。第66回日本臨床
外科学会，2004，（盛岡），[口演]
- 043 **藤井正宏**：血性乳頭分泌で発見された男性非浸潤性乳癌の
一例。第1回乳癌学会中部地方会，2004，（高山），[口演]
- 044 **藤井正宏**：マンモグラフィで異常所見を呈さない乳癌の検
討。第13回日本乳腺甲状腺超音波診断会議，2004，（吹田），
[口演]
- 045 **藤井正宏**：マンモグラフィで異常所見を呈さない乳癌の検
討。第66回日本臨床外科学会総会，2004，（盛岡），[口演]
- 046 **藤井正宏**：当科におけるリアルタイム4D イメージングを
用いた乳房超音波検査の経験（第1報）。第21回日本超音波
医学界中部地方会，2004，（富山），[口演]
- 047 **藤井正宏**：高エコー腫瘍像を呈した浸潤性小葉癌2例につ
いて。第14回日本乳癌画像研究会，2005，（横浜），[口演]
- 048 **藤井正宏**：術前化学療法のモニタリングとしての乳房超音
波検査の問題点。第14回日本乳腺甲状腺超音波診断。会議，
2005，（志摩），[口演]
- 049 **藤田崇史**：血性乳頭分泌症に対する乳管造影下マンモト
ーム生検の有用性。第1回日本乳癌学会中部地方会，2004，（高
山），[口演]
- 050 **藤田崇史**：当科における超音波ガイド下マンモトーム生検
の経験（第1報）。第13回日本乳腺甲状腺超音波診断会議，
2004，（大阪），[パネルディスカッション]
- 051 **藤田崇史**：超音波ガイド下マンモトームが有効であった
ductal adenoma 2 例の検討。第14回日本乳腺画像研究会，
2005，（横浜），[口演]

- 052 藤田崇史：当科における超音波ガイド下マンモトーム生検の経験（第2報）．第14回日本乳腺甲状腺超音波診断会議，2005，（三重），[口演]
- 053 藤田崇史：超音波ガイド下マンモトームが有効であった ductal adenoma 2 例の検討．第14回日本乳腺甲状腺超音波診断会議，2005，（三重），[口演]
- 054 近藤直人²²⁾，水谷三浩，亀井桂太郎，遠山竜也，川口暢子²²⁾，重盛千香²⁴⁾，藤田崇史²²⁾，藤井正宏²²⁾，岩田広治：乳腺 Adenomyoepithelioma の2例．第1回日本乳癌学会中部地方会，2004，（高山），[口演]
- 055 近藤直人²²⁾，水谷三浩，亀井桂太郎，遠山竜也，川口暢子²²⁾，重盛千香²⁴⁾，藤田崇史²²⁾，藤井正宏²²⁾，岩田広治：マンモグラフィにおける乳腺濃度の検討．第14回日本乳癌画像研究会，2005，（横浜），[口演]
- 056 近藤直人²²⁾，水谷三浩，亀井桂太郎，遠山竜也，川口暢子²²⁾，重盛千香²⁴⁾，藤田崇史²²⁾，藤井正宏²²⁾，岩田広治：扁平上皮癌を疑った微小浸潤癌の1例．第14回日本乳腺甲状腺超音波診断会議，2005，（三重），[口演]
- 057 近藤直人²²⁾，水谷三浩，亀井桂太郎，遠山竜也，川口暢子²²⁾，重盛千香²⁴⁾，藤田崇史²²⁾，藤井正宏²²⁾，岩田広治：マンモグラフィで構築の乱れのみを呈する非触知の非浸潤性乳管癌の検討．第14回日本乳腺甲状腺超音波診断会議，2005，（三重），[口演]

¹⁾熊本大学乳腺内分泌外科，²⁾名古屋市立大学乳腺内分泌外科，³⁾名古屋市立大学第2外科，⁴⁾豊川市民病院外科，⁵⁾名古屋市立大学分子医学研究所生体制御部門，⁶⁾カルガリー大学医学部分子生物学，⁷⁾聖路加国際病院プレストセンター，⁸⁾都立駒込病院外科（乳腺グループ），⁹⁾九州がんセンター乳腺科，¹⁰⁾関西労災病院外科，¹¹⁾東京医科大学外科，¹²⁾広島市立安佐市民病院外科，¹³⁾旭川医科大学外科，¹⁴⁾名古屋医療センター外科，¹⁵⁾大阪医療センター外科，¹⁶⁾昭和大学豊洲病院外科，¹⁷⁾癌研究会癌研究所病理部，¹⁸⁾癌研究会附属病院化学療法科癌化学療法センター臨床部，¹⁹⁾県立がんセンター新潟病院外科，²⁰⁾埼玉医科大学乳腺腫瘍科，²¹⁾四国がんセンター，²²⁾愛知県がんセンターレジデント，²³⁾加茂病院外科，²⁴⁾愛知県がんセンター任意研修生，²⁵⁾東京医科大学第3外科学講座

消化器外科部

- 001 Hirai T, Kato T, Kanemitsu Y: The outcome of Autonomic Nerve Preservation Operation with Lateral Lymph Node Dissection for Rectal Cancer. 第20回 Congress of the international society of university colon and rectal dsurgeons, 2004. (Budapest) [口演].
- 002 Hirai T, Kato T, kanemitsu Y: The outcome of Autonomic Nerve Preservation Operation with Lateral Lymph Node Dissection for Rectal Cancer. 第3回 International symposium of Colorectal Surgery, 2004. (Hanzhou) [特別講演].
- 003 Yamamura Y: Stomach : others (1). 第19回 World Congress of International Society for Digestive Surgery, 2004. (Yoko-

hama) [座長].

- 004 清水泰博，安井健三，加藤知行，山村義孝，平井 孝，金光幸秀，伊藤誠二，望月能成¹⁾，原 賢康²⁾，三澤一成³⁾，徳山泰治⁴⁾，宮井博隆⁵⁾：小腸癌 (ts 1) の治療成績．第104回日本外科学会，2004. (大阪) [口演].
- 005 伊藤誠二，小寺泰弘¹⁰⁾，望月能成¹⁾，山村義孝，金光幸秀，清水泰博，平井 孝，安井健三，加藤知行：スキルス胃癌治療成績の変化—非切除の方針は妥当か—．第104回日本外科学会，2004. (大阪) [示説].
- 006 原 賢康²⁾，清水泰博，安井健三，山村義孝，平井 孝，金光幸秀，伊藤誠二，望月能成¹⁾，三澤一成³⁾，徳山泰治⁴⁾，宮井博隆⁵⁾，加藤知行：門脈内腫瘍栓を伴う巨大な退形成性膵管癌の1例．第267回東海外科学会，2004. (名古屋大阪) [口演].
- 007 三澤一成³⁾，清水泰博，安井健三，山村義孝，平井 孝，金光幸秀，伊藤誠二，望月能成¹⁾，原 賢康²⁾，徳山泰治⁴⁾，宮井博隆⁵⁾，加藤知行：転移性膵癌の1切除例．第267回東海外科学会，2004. (名古屋) [口演].
- 008 清水泰博，安井健三：膵癌術後長期生存の条件．第16回肝胆膵外科学会，2004. (大阪) [口演].
- 009 安井健三，清水泰博：大腸癌肝転移の外科治療方針と成績．第16回肝胆膵外科学会，2004. (大阪) [パネルディスカッション].
- 010 山村義孝：胃癌治療ガイドラインの問題点．第12回腫瘍セミナー，2004. (浜松) [特別講演].
- 011 平井 孝，加藤知行，金光幸秀：下部直腸癌の外科治療成績の進歩．第29回日本外科系連合学会，2004. (東京) [パネルディスカッション].
- 012 金光幸秀，平井 孝，加藤知行：Rb 直腸癌前方切除例における diverting stoma の役割（縫合不全抑制効果が果たしてあるのか？）．第61回大腸癌研究会，2004. (新潟市民芸術文化会館) [口演].
- 013 原 賢康²⁾，平井 孝，金光幸秀，加藤知行，中西速夫⁶⁾：直腸癌における側方リンパ節および直腸間膜内リンパ節における微小転移の頻度とその生存率への影響．第61回大腸癌研究会，2004. (新潟) [口演].
- 014 徳山泰治，清水泰博，安井健三，山村義孝，平井 孝，金光幸秀，小島泰樹，伊藤誠二，宮井博隆⁵⁾，安 炳九⁷⁾，箕畑順也⁸⁾，加藤知行：原発部位の同定が困難であった巨大な膵島腫瘍の1例．第22回愛知臨床外科学会，2004. (名古屋) [口演].
- 015 山口真澄¹¹⁾，鎌倉やよい¹²⁾，深田順子¹³⁾，中島佳緒里¹⁴⁾，山村義孝，伊藤誠二，望月能成¹⁾，加藤知行，高山冷子¹⁵⁾，金田久江¹⁶⁾：看護プログラム導入による幽門側胃切除術 (B-1 法再建) 術後の食事摂取量の検討．第59回日本消化器外科学会定期学術総会，2004. (鹿児島) [示説].
- 016 山村義孝：一般演題 (ビデオ) 胃4. 第59回日本消化器外科学会定期学術総会，2004. (鹿児島) [司会].
- 017 山村義孝，伊藤誠二，望月能成¹⁾，金光幸秀，清水泰博，平井 孝，安井健三，加藤知行，中西速夫⁶⁾，小寺泰弘¹⁰⁾：術後成績と網膜内細胞診 (リアルタイム RT-PCR 法) の結果からみた網膜合併切除の意義．第59回日本消化器外科学

- 会定期学術総会, 2004. (鹿児島) [口演].
- 018 平井 孝: 大腸癌治療切除後の再発フォローアップ検査の有効性と問題点. 第5回大腸術後フォローアップ研究会, 2004. (東京) [口演].
- 019 山村義孝: 胃・十二指腸(2). 第40回中部外科学会総会, 2004. (金沢) [座長].
- 020 山村義孝: 癌取り扱い規約について. 第8回臨床試験施設データマネージャー養成に関するワークショップ, 2004. (東京) [教育講演].
- 021 徳山泰治¹⁾, 清水泰博, 安井健三, 高橋邦之¹⁷⁾, 水野伸匡¹⁸⁾, 澤木 明¹⁹⁾, 山雄健次²⁰⁾: 残脾摘出を施行した脾管内乳頭腫瘍の1例. 第55回東海胆道研究会, 2004. (名古屋) [口演].
- 022 山村義孝: 胃悪性12. 第66回日本臨床外科学会総会, 2004. (盛岡) [座長].
- 023 徳山泰治¹⁾, 清水泰博, 安井健三, 山村義孝, 平井 孝, 金光幸秀, 小島泰樹, 伊藤誠二, 宮井博隆⁵⁾, 安 炳九⁷⁾, 箕畑順也⁸⁾, 宮前 拓⁹⁾, 加藤知行: ts1 脾癌の1例. 第268回東海外科学会, 2004. (岐阜) [口演].
- 024 山村義孝: 各科領域における手術の工夫(拡大手術). 第42回日本癌治療学会総会, 2004. (京都) [司会].
- 025 平井 孝, 加藤知行, 金光幸秀: 進行直腸癌に対する側方リンパ節郭清の意義一同時期での非郭清例との比較一. 第59回日本大腸肛門病学会, 2004. (久留米) [口演].
- 026 金光幸秀, 平井 孝, 小森康司, 加藤知行: 下部直腸癌に対する肛門温存術式の適応と実際. 第12回東海大腸外科治療研究会, 2004. (安保ホール) [口演].
- 027 山村義孝: おなかの癌と言われたら 胃癌. 第101回日本消化器病学会東海支部例会, 2004. (名古屋) [特別講演].
- 028 平井 孝: 大腸手術における吻合法: 結腸癌切除後の手縫い吻合再建法. 第1回日本消化管学会, 2005. (名古屋) [ワークショップ].
- 029 徳山泰治¹⁾, 宮井博隆⁵⁾, 清水泰博, 安井健三, 今岡 大²¹⁾, 高橋邦之¹⁷⁾, 水野伸匡¹⁸⁾, 澤木 明¹⁹⁾, 山雄健次²⁰⁾: 腹腔内へ穿破した脾管内乳頭腫瘍の1例. 第56回東海胆道研究会, 2005. (名古屋市) [口演].

¹⁾県立愛知病院, ²⁾消化器外科レジデント, ³⁾名古屋大学医学部, ⁴⁾消化器外科レジデント, ⁵⁾消化器外科レジデント, ⁶⁾研究所腫瘍病理, ⁷⁾消化器外科レジデント, ⁸⁾消化器外科任意研修生, ⁹⁾消化器外科レジデント, ¹⁰⁾名古屋大学医学部, ¹¹⁾愛知県立看護大学, ¹²⁾愛知県立看護大学, ¹³⁾愛知県立看護大学, ¹⁴⁾愛知県立看護大学, ¹⁵⁾愛知県がんセンター看護部, ¹⁶⁾愛知県がんセンター看護部, ¹⁷⁾消化器内科, ¹⁸⁾消化器内科, ¹⁹⁾消化器内科, ²⁰⁾消化器内科, ²¹⁾消化器内科レジデント

整形外科部

- 001 Yamada K, Sugiura H, Suzuki Y: 36-year-old Male, Malignant Fibrous Histiocytoma (MFH) in the Proximal Part of the Left Thigh. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [口演]

- 002 Katagiri H¹⁾, Takahashi M¹⁾, Takagi T¹⁾, Sugiyama H²⁾, Sugiura H, Sato K³⁾, Nishida Y⁴⁾, Nakashima H⁵⁾: Palliative Intra-arterial Infusion Chemotherapy and Radiotherapy for Nonoperable Bone and Soft Tissue Sarcoma. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [口演]
- 003 山田健志, 杉浦英志, 鈴木喜貴, 神谷悦功⁹⁾, 中村栄男⁷⁾, 谷田部恭⁷⁾, 高橋恵美子⁷⁾: 骨盤小円形細胞腫瘍の1例. 第50回東海骨軟部腫瘍研究会, 2004. (名古屋), [口演]
- 004 和佐潤志, 山田健志, 杉浦英志, 金光幸秀⁸⁾, 中村栄男⁷⁾, 谷田部恭⁷⁾, 高橋恵美子⁷⁾: 左殿部軟部肉腫の1例. 第51回東海骨軟部腫瘍研究会, 2004. (名古屋), [口演]
- 005 和佐潤志, 杉浦英志, 山田健志, 中村栄男⁷⁾, 谷田部恭⁷⁾, 高橋恵美子⁷⁾, 吉田雅博⁹⁾: 縦隔腫瘍の1例. 第52回東海骨軟部腫瘍研究会, 2004. (名古屋), [口演]
- 006 山田健志, 杉浦英志, 和佐潤志, 亀井 譲¹⁰⁾, 高田 徹¹⁰⁾: 近位型類上皮肉腫の再発例. 第11回骨・軟部腫瘍治療法検討会, 2004. (名古屋), [口演]
- 007 山田健志, 杉浦英志, 和佐潤志: 高齢者の前腕遠位部再発性軟部肉腫. 第12回骨・軟部腫瘍治療法検討会, 2004. (名古屋), [口演]
- 008 山田健志, 杉浦英志, 鈴木喜貴, 西田佳弘⁴⁾, 中西啓介¹¹⁾, 米川正洋¹¹⁾, 高橋 満¹⁾: 成人例骨原発小円形細胞肉腫に対する治療. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [口演]
- 009 山田健志, 杉浦英志, 鈴木喜貴, 高橋 満¹⁾: 広範囲な骨髄浸潤を呈した成人発病後腹膜神経芽細胞腫の1例. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [ポスター]
- 010 杉浦英志, 山田健志, 鈴木喜貴, 杉浦孝彦¹²⁾: 肺癌骨転移における外科的治療の適応. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [シンポジウム]
- 011 杉浦英志, 山田健志, 鈴木喜貴, 西田佳弘⁴⁾, 中西啓介¹¹⁾, 中島浩敦⁹⁾, 高橋 満¹⁾: 再発軟部腫瘍に対する広範切除術一切除縁と術後の予後一. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [口演]
- 012 中島浩敦⁹⁾, 西田佳弘⁵⁾, 杉浦英志, 浅野昌育¹³⁾, 柘植 哲¹³⁾, 石川忠也¹³⁾: 腫瘍切除後非血管柄付き遊離腓骨移植を用いて再建した焼骨遠位骨巨細胞腫の2例. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [ポスター]
- 013 鈴木喜貴, 杉浦英志, 山田健志: 転移性脊椎腫瘍症例の検討. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [ポスター]
- 014 兵藤伊久夫¹⁴⁾, 杉浦英志, 山田健志, 鈴木喜貴: 仙骨部軟部肉腫. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [ポスター]
- 015 吉田雅博⁹⁾, 西田佳弘⁴⁾, 山田芳久⁴⁾, 田畑 出⁴⁾, 杉浦英志, 石黒直樹³⁾: 傍骨性骨腫瘍の診断と治療. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [ポスター]
- 016 中西啓介¹¹⁾, 米川正洋¹¹⁾, 杉浦英志, 西田佳弘⁴⁾: 骨軟部腫瘍の地域分担は, 専門施設以外で肉腫が単純切除されてしまうことを減少できるのか? 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004. (東京), [ポスター]

- 017 西田佳弘³⁾, 田畑 出³⁾, 山田芳久³⁾, 吉田雅博³⁾, 杉浦英志, 中島浩敦²⁾, 石黒直樹¹⁾: 骨軟部悪性腫瘍治療戦略における化学療法感受性試験. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004, (東京), [口演]
- 018 筑紫 聡³⁾, 中島浩敦²⁾, 紫藤洋二⁵⁾, 新井英介⁵⁾, 西田佳弘⁴⁾, 中西啓介¹¹⁾, 杉浦英志, 高橋 満¹⁾, 杉山晴敏²⁾: 上腕骨近位骨腫瘍広範切除術後再建の機能評価—Clavícula Pro Humero 法—. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004, (東京), [口演]
- 019 荒木信人¹⁵⁾, 守田哲郎¹⁶⁾, 中馬広一¹⁷⁾, 矢澤康男¹⁸⁾, 名井陽⁹⁾, 片桐浩久¹⁾, 杉浦英志, 小泉雅彦¹⁵⁾, 中 紀文¹⁵⁾, 橋本伸之¹⁵⁾, 中西啓文¹¹⁾, 星 学¹⁵⁾, 大西雅之¹⁵⁾, 杉安謙仁朗¹⁵⁾: 転移性骨腫瘍診療についての日整会研究施設アンケート結果報告と診療ガイドライン. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2004, (東京), [シンポジウム]
- 020 荒木信人¹⁵⁾, 中馬広一¹⁷⁾, 守田哲郎¹⁶⁾, 矢澤康男¹⁸⁾, 片桐浩久¹⁾, 名井 陽⁹⁾, 宮城洋平²¹⁾, 杉浦英志, 中 紀文¹⁵⁾, 橋本伸之¹⁵⁾, 佐藤啓二³⁾: 転移性骨腫瘍診療の現状に関するアンケート結果報告. 第77回日本整形外科学会学術総会, 2004, (神戸), [口演]
- 021 荒木信人¹⁵⁾, 守田哲郎¹⁶⁾, 中馬広一¹⁷⁾, 矢澤康男¹⁸⁾, 名井陽⁹⁾, 片桐浩久¹⁾, 杉浦英志, 小泉雅彦¹⁵⁾: 転移性骨腫瘍の治療戦略—日本整形外科学会臨床研修施設への骨転移治療に関するアンケート結果報告. 第42回日本癌治療学会, 2004, (京都), [口演]
- 022 山田健志, 和佐潤志, 杉浦英志, 古谷和久²²⁾: 非外傷性鎖骨骨折の2例. 第197回東海整形外科集談会東海地方会, 2004, (名古屋), [口演]
- 023 和佐潤志, 杉浦英志, 山田健志: 軟部再発をきたした骨巨細胞腫の1例. 第196回東海整形外科集談会東海地方会, 2004, (名古屋), [口演]
- 024 杉浦英志: 骨転移の臨床的特徴と治療について. 第312回愛整会CPC及び愛知県整形外科医会講演会, 2005, (名古屋), [特別講演]

¹⁾静岡がんセンター, ²⁾静岡済生会総合病院, ³⁾愛知医科大学, ⁴⁾名古屋大学整形外科, ⁵⁾名古屋記念病院, ⁶⁾薬物療法部, ⁷⁾遺伝子病理診断部, ⁸⁾消化器外科, ⁹⁾市立四日市病院, ¹⁰⁾名古屋大学形成外科, ¹¹⁾県立愛知病院, ¹²⁾呼吸器内科部, ¹³⁾名古屋第一赤十字病院, ¹⁴⁾頭頸部外科部, ¹⁵⁾大阪府立成人病センター, ¹⁶⁾県立がんセンター新潟病院, ¹⁷⁾国立がんセンター中央病院整形外科, ¹⁸⁾栃木県立がんセンター骨軟部腫瘍科, ¹⁹⁾大阪大学医学部付属病院整形外科, ²⁰⁾共立病院整形外科, ²¹⁾神奈川がんセンター, ²²⁾放射線治療部

泌尿器科部

- 001 脇田利明, 長谷川嘉弘¹⁾, 坂田裕子¹⁾, 林 宣男: 2003年愛知県がんセンター泌尿器科入院手術統計. 第35回三重泌尿器科医会, 2004, (津), [口演]
- 002 脇田利明, 長谷川嘉弘¹⁾, 坂田裕子¹⁾, 林 宣男: 当院にお

ける経直腸的前立腺6か所生検, 8か所生検の比較検討. 第92回日本泌尿器科学会総会, 2003, (大阪), [示説]

- 003 長谷川嘉弘¹⁾, 加藤康人¹⁾, 脇田利明, 林 宣男: 集学的治療を施行した尿膜管癌の1例. 第224回東海地方会, 2004, (名古屋), [口演]
- 004 加藤康人¹⁾, 長谷川嘉弘¹⁾, 脇田利明, 林 宣男, 堀尾芳嗣²⁾, 坂田裕子¹⁾: 若年者に発症した浸潤性膀胱小細胞癌の一例. 第225回東海地方会, 2004, (名古屋), [口演]
- 005 長谷川嘉弘¹⁾, 加藤康人¹⁾, 脇田利明, 林 宣男: 限局性前立腺癌に対する内分泌併用放射線治療の臨床的検討. 第36回三重泌尿器科医会, 2004, (津), [口演]
- 006 長谷川嘉弘¹⁾, 加藤康人¹⁾, 脇田利明, 林 宣男: 愛知県がんセンターにおける前立腺複数回生検の臨床的検討. 第39回日本癌治療学会総会, 2004, (京都), [示説]
- 007 脇田利明, 林 宣男, 不破信和³⁾: デイバート「前立腺癌pT3への対処法」, 前立腺全摘術後(pT3)のPSA再発に対する放射線治療. 第59回日本泌尿器科学会中部総会, 2004, (和歌山), [口演]
- 008 加藤康人¹⁾, 脇田利明, 長谷川嘉弘¹⁾, 林 宣男, 杉村芳樹⁴⁾: 愛知県がんセンターにおける膀胱癌全摘症例の臨床的検討. 第59回日本泌尿器科学会中部総会, 2004, (和歌山), [示説]
- 009 日置啄一⁵⁾, 佐谷博之⁵⁾, 坂田裕子¹⁾, 村田哲也⁵⁾, 脇田利明, 林 宣男, 杉村芳樹⁴⁾: Neuroendocrine differentiationをきたした前立腺癌の2例に対する化学療法. 第59回日本泌尿器科学会中部総会, 2004, (和歌山), [示説]

¹⁾愛知県がんセンター泌尿器科部レジデント, ²⁾愛知県がんセンター呼吸器内科, ³⁾愛知県がんセンター放射線治療部, ⁴⁾三重大学泌尿器科, ⁵⁾鈴鹿中央病院泌尿器科

婦人科部

- 001 島田宗昭¹⁾, 金森康展¹⁾, 紀川純三¹⁾, 山口 聡²⁾, 西村隆一郎²⁾, 中西 透, 葛谷和夫, 寺川直樹¹⁾: 子宮頸癌卵巣転移例の臨床病理学的検討. 第56回日本産科婦人科学会学術講演会, 2004, (東京), [ポスター]
- 002 葛谷和夫, 佐々木寛³⁾, 西村隆一郎⁴⁾, 舟本 寛⁵⁾, 日浦昌道⁶⁾, 寒河江悟⁷⁾, 児玉省二⁸⁾, 中島久良⁹⁾, 小西郁生¹⁰⁾, 工藤隆一⁷⁾: 婦人科癌術後の下肢リンパ浮腫を発生する高危険因子とくに術式因子について. 第56回日本産科婦人科学会学術講演会, 2004, (東京), [ポスター]
- 003 那波明宏, 谷野公俊¹¹⁾, 生駒容子, 中西透, 葛谷和夫, 岩城正宏¹¹⁾: P-糖タンパク質発現癌化細胞におけるタキソールプロドラッグの透過性及び取り込みとその細胞内活性化についての基礎的検討—新規 prodrug vi-rotherapy の開発をめざして. 第56回日本産科婦人科学会学術講演会, 2004, (東京), [ポスター]
- 004 島田宗昭¹⁾, 紀川純三¹⁾, 西村隆一郎²⁾, 葛谷和夫, 鈴木光明²⁾, 菊池義公¹³⁾, 寺川直樹¹⁾: 子宮頸癌に対する機能温存手術の現状と展望—子宮頸癌手術における卵巣温存の適応

- 基準. 第42回日本癌治療学会, 2004, (京都), [ポスター]
- 005 武木田茂樹²⁾, 西村隆一郎²⁾, 勝俣範之¹⁴⁾, 青木大輔¹⁵⁾, 蔵本博行¹⁶⁾, 植木 健¹⁷⁾, 河野一郎¹⁸⁾, 荘田恭仁¹⁹⁾, 田中憲一²⁰⁾, 菊池正晃¹³⁾, 太田博明²¹⁾, 木口一成²²⁾, 宇田川康博²³⁾, 葛谷和夫, 粉川克司²⁴⁾, 江尻孝平²⁵⁾, 齋藤俊章²⁶⁾, 蜂須賀徹²⁷⁾, 嘉村敏治²⁸⁾, 波多江正紀²⁹⁾, 秦 宏樹³⁰⁾, 野澤志朗¹⁵⁾, 野田起一郎³¹⁾: 新規抗癌剤の臨床応用 (食道・乳腺・子宮) 進行・再発子宮体癌に対する Docetaxel の第2相臨床試験. 第42回日本癌治療学会, 2004, (京都), [ポスター]
- 006 生駒容子, 角健 司²⁾, 中西 透, 那波明宏, 葛谷和夫: 進行, 再発子宮体癌に対する TJ (paclitaxel+carboplatin) 療法の有効性に関する検討. 第42回日本癌治療学会, 2004, (京都), [ポスター]

¹⁾鳥取大, ²⁾兵庫県立成人病センター, ³⁾慈恵医大, ⁴⁾兵庫県立がんセンター, ⁵⁾富山県立中央病院, ⁶⁾国立病院四国がんセンター, ⁷⁾札幌医科大, ⁸⁾新潟県立がんセンター, ⁹⁾長崎大保健学科, ¹⁰⁾信州大, ¹¹⁾近畿大薬学部, ¹²⁾自治医大, ¹³⁾防衛医大, ¹⁴⁾国立がんセンター中央病院, ¹⁵⁾慶応義塾大, ¹⁶⁾北里大, ¹⁷⁾大阪医大, ¹⁸⁾川崎医大, ¹⁹⁾福岡・麻生飯塚病院, ²⁰⁾新潟大, ²¹⁾東京女子医大, ²²⁾聖マリアンナ医大, ²³⁾藤田保健衛生大, ²⁴⁾和歌山県立医大, ²⁵⁾岡山赤十字病院, ²⁶⁾国立病院九州がんセンター, ²⁷⁾福岡大, ²⁸⁾久留米大, ²⁹⁾鹿児島市立病院, ³⁰⁾東京通信病院, ³¹⁾近畿大, ³²⁾愛知県がんセンター婦人科部レジデント

麻酔科部

- 001 細田蓮子: ペンクリニック・緩和ケア2. 日本麻酔科学会第51回学術集会, 2004, (名古屋), [座長]
- 002 細田蓮子: オピオイドローテーション. 第2回名古屋がん疼痛緩和フォーラム, 2004, (名古屋), [座長]
- 003 細田蓮子: 緩和医療. 日本臨床麻酔学会第24回大会, 2004, (名古屋), [座長]
- 004 細田蓮子, 伴美夕貴: 食道再建術麻酔管理, 硬膜外ダブルカテーテルならびに2種の気管支ブロッカーの応用. 第95回日本麻酔科学会東海・北陸支部学術集会, 2005, (名古屋), [示説]
- 005 細田蓮子: 教育講演「麻酔科医と職業感染予防」. 第95回日本麻酔科学会東海・北陸支部学術集会, 2005, (名古屋), [座長]

放射線診断部

- 001 佐藤洋造: 肺生検. 第33回日本血管造影・Interventional Radiology 学会総会, 2004, (東京)[セミナー]
- 002 稲葉吉隆, 荒井保明, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 嶋本 裕: 消化管ステント治療におけるエビデンス. 第22回日本 Metallic Stents&Grafts 研究会, 2004, (東京)[シンポジウム]
- 003 稲葉吉隆: リザーバー動注療法のメンテナンス. 第33回日

本血管造影・Interventional Radiology 学会総会, 2004, (東京)[セミナー]

- 004 佐藤洋造, 荒井保明, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕, 佐々木文雄: ロングテーパー W スパイラルカテーテルを用いた腹腔動脈以遠カテーテル細径部留置法 (入江法) による GDA コイル法についての検討. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第17回中部地方会, 2004, (金沢)[口演]
- 005 稲葉吉隆, 荒井保明, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕, 佐々木文雄: 気管用スパイラル Z ステントを用いた大動脈ステント留置術の検討. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第17回中部地方会, 2004, (金沢)[口演]
- 006 宮崎将也, 荒井保明, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 嶋本 裕, 佐々木文雄: 白蓋部骨転移に対して骨形成術を施行した3例. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第17回中部地方会, 2004, (金沢)[口演]
- 007 嶋本 裕, 荒井保明, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 宮崎将也, 佐々木文雄: PTCD における肝動脈出血に対して経皮的に止血した2例. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第17回中部地方会, 2004, (金沢)[口演]
- 008 佐藤洋造, 荒井保明, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕: Long tapered W-spiral catheter を用いた腹腔動脈以遠カテーテル細径部留置法 (入江法) による GDA-coil 法についての検討. 第27回リザーバー研究会, 2004, (東京)[口演]
- 009 宮崎将也, 荒井保明, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 嶋本 裕: 胃癌肝転移症例に対する Long tapered W-spiral catheter を用いた肝動脈末梢固定留置法についての検討. 第27回リザーバー研究会, 2004, (東京)[口演]
- 010 稲葉吉隆, 荒井保明, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕: 肝内胆管癌に対する塩酸ゲムシタピン (GEM) 肝動注化学療法の第 I / II 相臨床試験. 第27回リザーバー研究会, 2004, (東京)[口演]
- 011 生口俊浩, 荒井保明, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 嶋本 裕: 大腸がんの同時性切除不能肝転移に対し, 原発巣切除に先行して肝動注化学療法を施行した症例についての検討. 第27回リザーバー研究会, 2004, (東京)[口演]
- 012 山浦秀和, 荒井保明, 稲葉吉隆, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕: リザーバー DSA にて総肝動脈閉塞が疑われた症例に関する検討. 第27回リザーバー研究会, 2004, (東京)[口演]
- 013 稲葉吉隆: 進行再発大腸癌の化学療法～肝転移を中心に～. 第22回愛知臨床外科学会, 2004, (愛知)[ランチョンセミナー]
- 014 稲葉吉隆: 動注化学療法の実際. 動注化学療法学術講習会, 2004, (三重)[学術講演]
- 015 佐藤洋造, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕, 荒井保明¹⁾: 切除不能進行再発大腸癌に対する UFT/LV の使用経験. 日本消化器病学会東海支部101回例

- 会, 2004, (愛知)[口演]
- 016 生口俊浩, 稲葉吉隆, 佐々木文雄, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 嶋本 裕: 心筋転移が疑われた2例. 第57回東海総合画像医学研究会, 2005, (三重)[口演]
- 017 生口俊浩, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 嶋本 裕: 肝動注リザーバシステム抜去, 再留置の評価. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第18回中部地方会, 2005, (三重)[口演]
- 018 山浦秀和, 稲葉吉隆, 林 孝行, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕: 肝動注中の肝動脈閉塞に対し, 再開通を試みた症例. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第18回中部地方会, 2005, (三重)[口演]
- 019 宮崎将也, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 嶋本 裕: PTCD ルートを介した輸入脚ドレナージ. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第18回中部地方会, 2005, (三重)[口演]
- 020 佐藤洋造, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕: 術後横隔膜下膿瘍ドレナージによる膿胸合併についての検討. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第18回中部地方会, 2005, (三重)[口演]
- 021 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕: 胃管挿入不可症例に対する経皮的胃瘻造設. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第18回中部地方会, 2005, (三重)[口演]
- 022 嶋本 裕, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 宮崎将也: 左総腸骨静脈腫瘍栓による下肢浮腫に対してステント留置を施行した1例. 日本血管造影・Interventional Radiology 学会第18回中部地方会, 2005, (三重)[口演]
- 023 嶋本 裕, 稲葉吉隆, 山浦秀和, 佐藤洋造, 荒井保明¹⁾, 尾山 卓²⁾, 有吉 寛³⁾: 転移・再発大腸癌に対する ℓ -LV/5FU (急速+持続静注)とCPT-11併用療法の第I相試験. 第3回日本臨床腫瘍学会総会, 2005, (横浜)[ポスター発表]
- 024 山浦秀和, 稲葉吉隆, 林 孝行, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕, 荒井保明¹⁾: 肝動注化学療法後の転移性・再発大腸癌に対する塩酸イリノテカン(CPT-11)を用いた全身化学療法の治療成績. 第28回リザーバー研究会, 2005, (奈良)[口演]
- 025 佐藤洋造, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕, 荒井保明¹⁾: 大腸癌肝転移に対するWHF療法無効例における後治療についての検討. 第28回リザーバー研究会, 2005, (奈良)[口演]
- 026 宮崎将也, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 嶋本 裕, 荒井保明¹⁾: Long tapered W-spiral catheterを用いたGDA-coil法(入江法)におけるカテーテル移動についての検討—カテーテル先端位置に着目して—. 第28回リザーバー研究会, 2005, (奈良)[口演]
- 027 嶋本 裕, 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 生口俊浩, 宮崎将也, 荒井保明¹⁾: 肝動注リザーバー留置後肺炎の2例. 第28回リザーバー研究会, 2005, (奈良)[口演]

- 028 稲葉吉隆, 林 孝行, 山浦秀和, 佐藤洋造, 宮崎将也, 生口俊浩, 嶋本 裕, 荒井保明¹⁾: 中心静脈リザーバーを用いた大腸癌外来在宅化学療法. 第28回リザーバー研究会, 2005, (奈良)[口演]

¹⁾国立がんセンター中央病院, ²⁾薬物療法部, ³⁾丸茂病院

放射線治療部

- 001 Kodaira T, Fuwa N, Kuzuya K¹⁾, Furutani K, Tachibana H, Ichimiya Y²⁾, Tomita N²⁾: Phase I/II study of alternating chemoradiotherapy using 5FU and Nedaplatin for patients with high-risk group of cervical carcinoma; a comparison to the historical control group using pre-treatment MRI evaluation. 46th Annual meeting of the American Society for Therapeutic Radiation and Oncology, 2004, (Atlanta), [口演]
- 002 Sakata K³⁾, Fuwa N, Kodaira T, Ikeda H⁴⁾, Aratani K⁴⁾, Nagakura H³⁾, Oouchi A³⁾, Nakata K³⁾, Hareyama M³⁾: Analyses of dose-response in radiotherapy for patients with T cell lymphoma according to the WHO classification. 46th Annual meeting of the American Society for Therapeutic Radiation and Oncology, 2004, (Atlanta), [口演]
- 003 Karasawa K⁵⁾, Mitsumori M⁶⁾, Yamauchi C⁶⁾, Gomi K⁷⁾, Kataoka M⁸⁾, Uematsu T⁹⁾, Kodaira T, Yamakawa M¹⁰⁾, Karasawa K¹¹⁾, Watanabe T¹²⁾, Tujino K¹³⁾: Japanese survey of treatment outcome of breast-conserving therapy in patients with positive or close surgical margins. 46th Annual meeting of the American Society for Therapeutic Radiation and Oncology, 2004, (Atlanta), [口演]
- 004 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 上咽頭癌局所再発例に対する化学放射線療法の治療成績. 日本医学放射線学会第136回中部地方会, 2004, (金沢), [口演]
- 005 不破信和: 頭頸部癌における多施設共同臨床研究について. 第28回日本頭頸部腫瘍学会, 2004, (福岡), [スポンサーセミナー]
- 006 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 一宮結加子²⁾: 頭頸部癌に対する5FU, nedaplatinによる化学放射線療法 a feasibility study. 第28回日本頭頸部腫瘍学会, 2004, (福岡), [ミニシンポジウム]
- 007 不破信和: 放射線治療臨床総論. 日本放射線技師会, 2004, (鈴鹿), [特別講演]
- 008 不破信和: Brachytherapy for lung cancer IAEA/RCA Regional Training Course. 日本放射線腫瘍学会 第17回学術大会, 2004, (千葉), [教育講演]
- 009 不破信和: 放射線治療—愛知県がんセンターの最近の取り組み—. 鈴鹿市医師会, 2004, (鈴鹿), [特別講演]
- 010 不破信和: 頭頸部癌に対する化学放射線療法. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [シンポジウム]
- 011 不破信和: 頭頸部腫瘍における化学放射線治療について. 第15回 岡山放射線腫瘍学カンファレンス, 2004, (岡山),

[特別講演]

- 012 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 一宮結加子²⁾, 富田夏夫²⁾, 肥田野暁²⁾, 鹿間直人¹⁴⁾, 鹿野真人¹⁵⁾, 戸板孝文¹⁶⁾, 湯田厚司¹⁷⁾, 林 靖之¹⁸⁾, 大西 洋¹⁹⁾: 7施設による上咽頭癌に対する CDDP/5FU と放射線治療の交替療法—86例の治療成績. 日本医学放射線学会 第137回中部地方会, 2005, (津), [口演]
- 013 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 一宮結加子²⁾, 富田夏夫²⁾, 肥田野暁²⁾, 小野公二²⁰⁾: 頭頸部再発癌に対する硼素中性子補足療法の経験. 中部地方会, 2005, (津), [口演]
- 014 古平 毅, 肥田野暁²⁾, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 立花弘之, 古谷和久, 不破信和: 高リスク子宮頸癌に対する 5FU/Nedaplatin と放射線治療の交替療法の臨床第1/2相試験. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [口演]
- 015 古平 毅, 篠田充功²¹⁾, 宇野 隆²²⁾, 戸板孝文¹⁶⁾, 川口敦子²³⁾, 手島昭樹²⁴⁾: 子宮頸癌放射線治療例 (non-surgery) における PCS99-01 の解析結果. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [口演]
- 016 古平 毅, 不破信和, 古谷和久, 立花弘之, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: High risk 子宮頸癌に対する 5FU/Nedaplatin を用いた alternating chemoradiotherapy の phase I/II study 第一報 効果と安全性の検討. 日本医学放射線学会第136回中部地方会, 2004, (金沢), [口演]
- 017 古平 毅, 不破信和, 古谷和久, 立花弘之, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: T4 食道癌に対しての放射線治療の役割. 日本医学放射線学会第136回中部地方会, 2004, (金沢), [口演]
- 018 古平 毅, 不破信和: T4 食道癌に対しての放射線治療の役割. 第58回日本食道学会, 2004, (東京), [口演]
- 019 唐沢久美子⁵⁾, 光森通英⁶⁾, 山内智香子⁶⁾, 五味光太郎⁷⁾, 片岡正明⁸⁾, 植松孝悦⁹⁾, 杉田 公²⁴⁾, 古平 毅, 山川通隆¹⁰⁾, 桜井英幸²⁵⁾, 唐沢克之¹¹⁾, 渡辺俊一¹²⁾, 辻野佳世子¹³⁾, 塩島和美²⁶⁾, 角藤芳久²⁷⁾, 喜多みどり²⁸⁾, 小林雅夫²⁹⁾, 郎 啓全³⁰⁾, 大泉幸雄³¹⁾, 塩浦宏樹³²⁾: 乳房温存療法切除断端陽性例に対する最適照射法の検討. 第12回日本乳癌学会総会, 2004, (小倉), [口演]
- 020 古平 毅, 不破信和: 肺癌の放射線治療 肺門部早期肺癌例に対する低線量率 Iridium を用いる気管支腔内照射を中心とする放射線治療. 第14回がん臨床研究フォーラム「放射線治療の新たな進展」ワークショップ1, 2004, (東京), [口演]
- 021 古平 毅: 子宮頸癌Ⅱ期Ⅲ期症例に対する 5FU/Nedaplatin を用いた alternating chemoradiotherapy の phase I/II study—MRI にもとづく case control 比較による放射線単独治療群との比較—. 第八回九州・山口がん診断治療研究会「子宮癌の診断と治療」, 2004, (福岡), [口演]
- 022 古平 毅, 不破信和, 古谷和久, 立花弘之, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: High risk 子宮頸癌に対する 5FU/Nedaplatin を用いた alternating chemoradiotherapy の phase I/II study 第二報 case-control 群との比較. 日本医学放射線学会第137回中部地方会, 2005, (津), [口演]
- 023 古谷和久, 不破信和, 芝本雄太³³⁾, 荻野浩幸³³⁾, 野村美和子³⁴⁾, 村尾豪之³⁵⁾, 今井美智子³⁶⁾, 石原俊一³⁷⁾, 加藤恵利子³⁸⁾: 胃悪性リンパ腫に対する放射線治療: 東海地方9病院のアンケート調査結果. 日本放射線腫瘍学会第17回学術大会, 2004, (千葉), [口演]
- 024 古谷和久: 頭頸部癌の超選択的動注療法 —その効果と問題点—. 日本耳鼻咽喉科学会第18回専門医講習会, 2004, (岡山), [口演]
- 025 古谷和久: 局所進行頭頸部癌に対する超選択的精密動注化学療法併用放射線治療による臓器・機能温存療法に関する臨床研究. 第24回がん集学的治療研究財団一般研究助成研究発表会, 2004, (東京), [口演]
- 026 古谷和久, 不破信和, 古平 毅, 立花弘之, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 動注併用放射線治療を行った歯肉扁平上皮癌例の検討. 日本医学放射線学会第137回中部地方会, 2005, (津), [口演]
- 027 立花弘之, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 転移性骨腫瘍に対する脊髄打ち抜き原体照射. 日本医学放射線学会第136回中部地方会, 2004, (金沢), [口演]
- 028 立花弘之, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾: 高齢者頭頸部癌に対する CDDP/CBDCA 動注化学療法同時併用放射線治療 —Phase I Study—. 第63回日本医学放射線学会総会, 2004, (横浜), [ポスター]
- 029 立花弘之, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 一宮結加子²⁾: 高齢・PS 不良例の頭頸部癌に対する CDDP/CBDCA 動注化学療法併用放射線治療 —Phase I study—. 第28回日本頭頸部腫瘍学会, 2004, (福岡), [ポスター]
- 030 立花弘之, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 頭頸部癌 (高齢者, PS 不良例) に対する CDDP/CBDCA 動注併用放射線治療 —Phase I Study—. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [ポスター]
- 031 立花弘之, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 富田夏夫²⁾, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 高齢者および高用量の化学療法に不適な内科的合併症を有する局所進行頭頸部癌に対する CDDP/CBDCA 動注化学療法と放射線治療の併用療法 —Phase I study—. 日本医学放射線学会第137回中部地方会, 2005, (津), [口演]
- 032 富田夏夫²⁾, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 当院における前立腺癌の外部照射—MLC—leaf を用いた直腸打ち抜き原体照射法. 第63回日本医学放射線学会総会, 2004, (横浜), [口演]
- 033 富田夏夫²⁾, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 当院における前立腺癌術後 PSA failure に対する放射線治療の検討, 日本医学放射線学会第136回中部地方会, 2004, (金沢), [口演]
- 034 富田夏夫²⁾, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之, 一宮結加子²⁾, 肥田野暁²⁾: 前立腺癌術後 PSA failure に対する放射線治療の初期経験. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [ポスター]
- 035 一宮結加子²⁾, 不破信和, 古平 毅, 古谷和久, 立花弘之,

- 富田夏夫²⁾、肥田野暁³⁾**：口腔底癌の放射線治療成績. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [ポスター]
- 036 **肥田野暁²⁾、不破信和、古平 毅、古谷和久、立花弘之、一宮結加子²⁾、富田夏夫²⁾**：副鼻腔癌に対する動注療法を中心とした化学放射線療法による非切除治療成績. 第17回日本放射線腫瘍学会, 2004, (千葉), [ポスター]
- 037 **肥田野暁²⁾、不破信和、古平 毅、古谷和久、立花弘之、一宮結加子²⁾、富田夏夫²⁾**：副鼻腔癌例に対する動注療法を中心とする化学放射線療法による非切除治療成績. 日本医学放射線学会第137回中部地方会, 2005, (津), [口演]

¹⁾婦人科, ²⁾レジデント, ³⁾札幌医科大学放射線科, ⁴⁾札幌市民病院放射線科, ⁵⁾順天堂大学放射線科, ⁶⁾京都大学放射線科, ⁷⁾癌研究会附属病院放射線治療科, ⁸⁾国立四国がんセンター放射線科, ⁹⁾静岡県がんセンター放射線科, ¹⁰⁾東京都老人医療センター放射線科, ¹¹⁾駒込病院放射線科, ¹²⁾佐久総合病院放射線科, ¹³⁾兵庫成人病センター放射線科, ¹⁴⁾信州大学放射線科, ¹⁵⁾福島医科大学放射線科, ¹⁶⁾琉球大学放射線科, ¹⁷⁾三重大学耳鼻科, ¹⁸⁾長崎大学放射線科, ¹⁹⁾山梨医科大学放射線科, ²⁰⁾京都大学原子炉実験所, ²¹⁾国立長野病院放射線科, ²²⁾千葉大学大学院, ²³⁾大阪大学大学院, ²⁴⁾県立がんセンター新潟病院放射線科, ²⁵⁾群馬大学医学部放射線科, ²⁶⁾伊勢崎市民病院放射線科, ²⁷⁾宮城県立がんセンター放射線科, ²⁸⁾都立府中病院放射線科, ²⁹⁾東京慈恵会医学部放射線科, ³⁰⁾滋賀医科大学放射線科, ³¹⁾東海大学医学部, ³²⁾福井大学医学部放射線科, ³³⁾名古屋市立大学放射線科, ³⁴⁾三重大学放射線科, ³⁵⁾一宮市民病院放射線科, ³⁶⁾浜松医大放射線科, ³⁷⁾豊橋市民病院放射線科, ³⁸⁾名古屋医療センター放射線科

看護部

- 001 **渡邊鮎美、小原真紀子、戸崎加奈江**：終末期におけるセデーション導入後の看護師の関わりを乳癌術後、脳、骨転移した患者の一事例を通して考える. 日本がん看護学会学術集会, 2005年, (宮城), [示説]
- 002 **永井真由美、野中 瞳、石堂曜子、山崎祥子、黒河瑞江、岩月美知子、川瀬洋子**：放射線療法・選択的持続動注療法を併用する舌・口腔底癌患者の看護. 日本看護学会（成人看護Ⅱ）, 2004年, (佐賀), [口演]
- 003 **青山寿昭**：誤嚥性肺炎を起こさない食事の上手なとりかた. がんセンター公開講座, 2004年, (名古屋), [口演]
- 004 **西尾充代**：がん化学療法看護. 愛知県看護協会主催「がん看護」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 005 **兵藤千草**：乳がん患者への看護一認定看護師への期待. 愛知乳癌チーム医療研究会, 2005年, (名古屋), [口演]
- 006 **兵藤千草**：看護倫理. 愛知県看護協会主催「がん看護」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 007 **藤井たけ**：危機理論. 愛知県看護協会主催「がん看護」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 008 **新田都子**：疼痛コントロール. 愛知県看護協会主催「がん看護」, 2004年, (名古屋), [口演]

- 009 **川瀬洋子**：スピリチュアル・ケア. 愛知県看護協会主催「がん看護」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 010 **長谷川美鶴**：がんと共に生きる. 愛知県看護協会主催「がん看護」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 011 **川瀬洋子**：スピリチュアル・ケア. 愛知県看護協会主催「ターミナルケア」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 012 **西尾充代、山田佳代子**：抗がん剤の被曝リスクに対する看護師の認識調査. 日本がん看護学会学術集会, 2005年, (仙台), [示説]
- 013 **藤下 礼、西尾充代、田内里香、吉江麻里、原 陽子、山田佳代子、中村直子**：抗がん剤の安全な取り扱いに関する看護師の認識調査. 日本造血細胞移植学会, 2004年, (岡山), [口演]
- 014 **藤井たけ**：悪性腫瘍患者の看護. 愛知県看護協会主催「訪問看護職員養成講習会」, 2004年, (名古屋), [口演]
- 015 **新田都子**：疼痛緩和の基礎知識. 県立愛知病院看護研究会, 2004年, (岡崎), [口演]
- 016 **青山寿昭、野田順子、田中解子**：下咽頭喉頭半切除術後の嚥下訓練. 第16回日本嚥下障害臨床研究会, 2004年, (神奈川), [口演]
- 017 **青山寿昭、野田順子、田中解子**：喉頭全摘（CHEP）後の嚥下障害の一例一機能回復の過程一. 第17回日本嚥下障害臨床研究会, 2005年, (静岡), [口演]
- 018 **新田都子**：患者様の体と心の痛みを知り和らげよう. 桑名市民病院, 2004年, (三重), [口演]
- 019 **川瀬洋子、東野督子¹⁾**：緩和ケア病棟以外の病棟でのスピリチュアルケアを試みた一事例. 第9回緩和医療学会, 2004年, (札幌), [口演]
- 020 **雨森貞子**：一般演題 患者管理Ⅱ. 第26回日本手術医学会, 2004年, (名古屋), [座長]

¹⁾日本赤十字看護短期大学